

ササハタハツ
Area Vision Book

資料編

はじめに

資料編では、本編よりも詳細なササハタハツエリアの現状分析や立地特性分析、ビジョン策定にあたり広く市民や企業にご回答頂いた計3回のアンケート結果（延べ1,627件）、公募委員によるビジョン検討委員会での検討経緯が掲載されています。

ササハタハツエリアの将来像に向けて地域が共に取り組みを進めるにあたり、現状認識やビジョンについて一段と理解が深まる資料です。

目次

1. 現状分析.....	1
2. ササハタハツエリア立地特性分析.....	23
2.1. 東京都基準値との比較.....	23
2.2. 乗降客数が同程度の駅との比較.....	25
2.3. 商店街が至近にある駅との比較.....	30
2.4. 近隣商業地の駅との比較.....	32
2.5. まとめ.....	33
3. アンケート調査の実施.....	34
3.1. 2020年度第1回アンケート.....	35
3.2. 2021年度第1回アンケート（個人向け）.....	49
3.3. 2021年度第1回アンケート（企業向け）.....	55
3.4. 2021年度第2回アンケート.....	58
4. ササハタハツエリアビジョン検討委員会.....	65
4.1. 検討委員会について.....	65
4.2. 第1回ササハタハツエリアビジョン検討委員会.....	66
4.3. 第2回ササハタハツエリアビジョン検討委員会.....	68
4.4. 第3回ササハタハツエリアビジョン検討委員会.....	70
4.5. 第4回ササハタハツエリアビジョン検討委員会.....	72
5. ササハタハツエリアビジョン検討委員会・分科会.....	74
5.1. 分科会について.....	74
5.2. インクルーシブ分科会.....	75
5.3. パブリックスペース分科会.....	76
5.4. 文化・芸術・歴史分科会.....	78

1. 現状分析

ササハタハツエリアビジョンの策定にあたり、各種統計資料やアンケート調査をもとに、エリアの現状を分析し、強み、弱みについて整理しました。その特徴として以下の A~D が挙げられます。

<p>特徴 A</p>	<p>コミュニティ・暮らし</p> <p>多様な世代を受け入れる、暮らしが中心にあるまち</p>
<p>特徴 B</p>	<p>自然・環境</p> <p>玉川上水旧水路緑道を中心に、身近に自然を感じることができるまち</p>
<p>特徴 C</p>	<p>商業・賑わい</p> <p>商店街を中心に、様々な魅力ある個店が集積するまち</p>
<p>特徴 D</p>	<p>歴史・文化・創造</p> <p>まちの歴史を土壌に、新たな文化や魅力が生まれるまち</p>

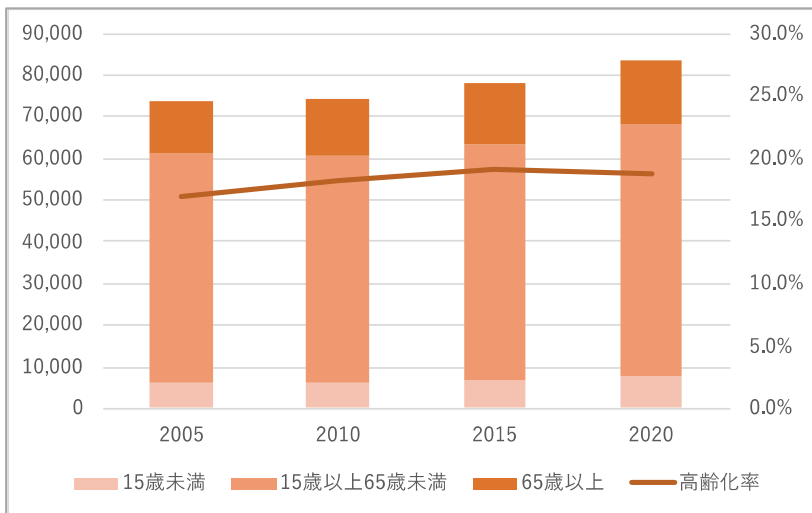
【特徴 A コミュニティ・暮らし】

多様な世代を受け入れる、暮らしが中心にあるまち

【現状】

① 渋谷区内の大半の人口を占める

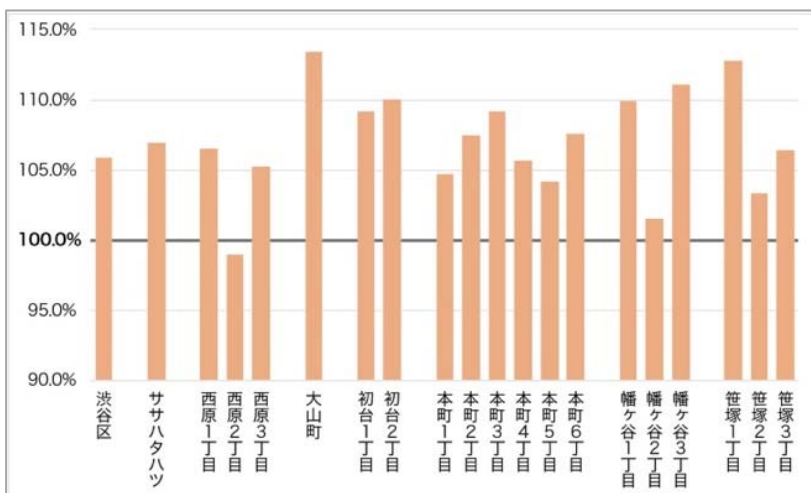
ササハタハツエリアは、人口 83,663 人で、渋谷区全体（229,671 人）の人口の 36%(2020 年 1 月時点)を占めています。また、2015 年から 2020 年にかけて、エリアの人口は微増しています。地域別の大きな違いは見られませんが、大山町は最も人口が増加しています。



ササハタハツエリアの人口増減・高齢化率

出典：渋谷区住民基本台帳（2005～2020）

※住民基本台帳法の一部改正により 2005,2010 は外国人を含まない。



町別の人口増減率（2015:2020 比較）

出典：渋谷区住民基本台帳（2015、2020）

② 他地域に比べ高齢化率が低く、多様な世代が居住

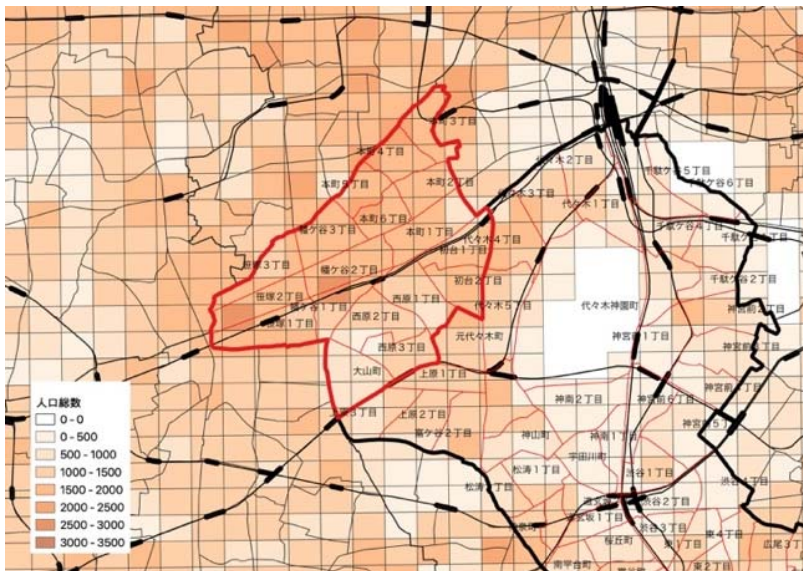
渋谷区のおもな地域に比べ、高齢化率が低い状況であり、単身世帯から家族まで幅広い世代・世帯が暮らしていることがわかります。エリア別に見ると、甲州街道を境に南部の高齢化率や単身世帯率が低く、北部は若干高い状況が見られます。その一方で、このエリアは僅かずつではありますが、15歳未満の人口も増えています。残っていてほしいまちのイメージのアンケート（第1回アンケート：2021年1月～2月実施）結果では、「子どもにやさしい、子育てしやすい」という項目が、今のイメージに比べて10年後に実現してほしいと答えた割合が高く、子育て環境の向上が求められていることがわかります。

また、就労支援施設等も多い地域であり、その通所者も利用する地域です。

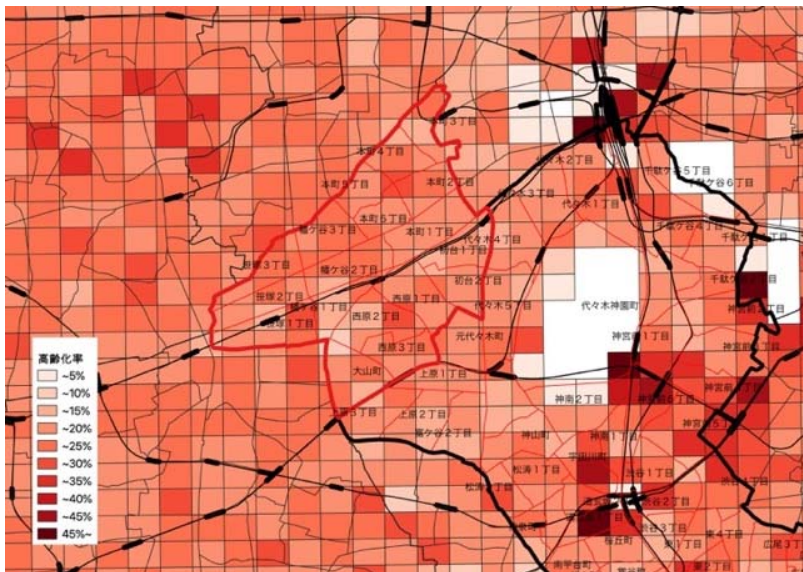
2017年度から2019年度に開催された「まちラボフューチャーセッション」の場において、「新住民と旧住民の接点がない」「つながりを求める人が多い」といった意見も出ています。2020年度のササハタハツまちラボ認定・登録プロジェクト※においても、コミュニティ不足の解決を目指したプロジェクトが実施されています。

※ササハタハツまちラボ認定・登録プロジェクト・・・

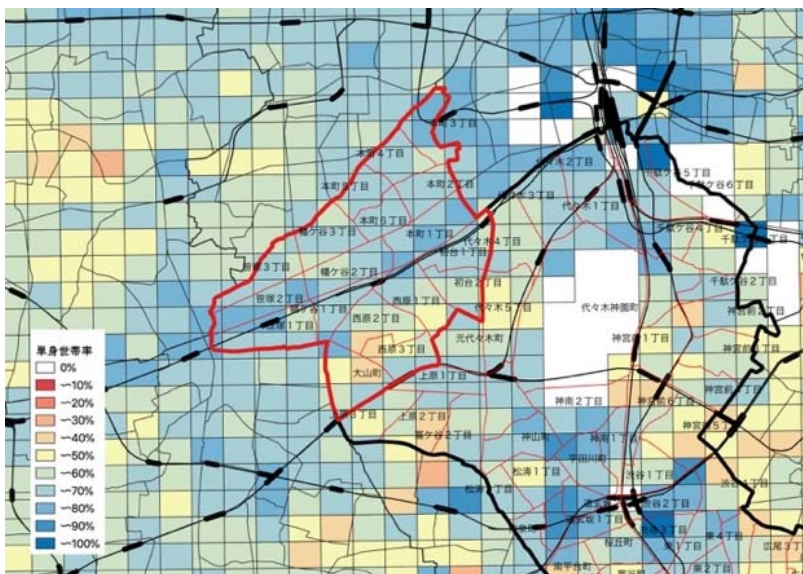
ササハタハツまちラボが実施している、ササハタハツエリアで活動する方の主体的な取り組みを応援する事業「ササハタハツピープルまちづくりサポート（ササハピ）」で認定・登録されたプロジェクト。



ササハタハツエリアの人口分布
出典：国勢調査（2015）



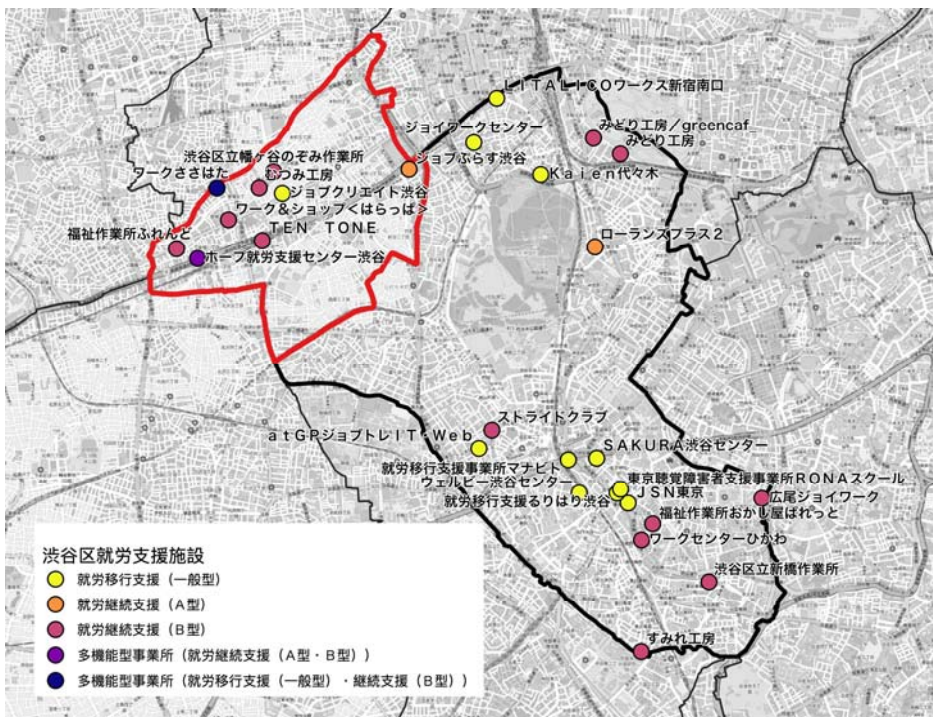
ササハタハツエリアの高齢化率
出典：国勢調査（2015）



ササハタハツエリアの単身世帯率
出典：国勢調査（2015）



ササハタハツエリアの15歳未満人口分布
出典：国勢調査（2015）

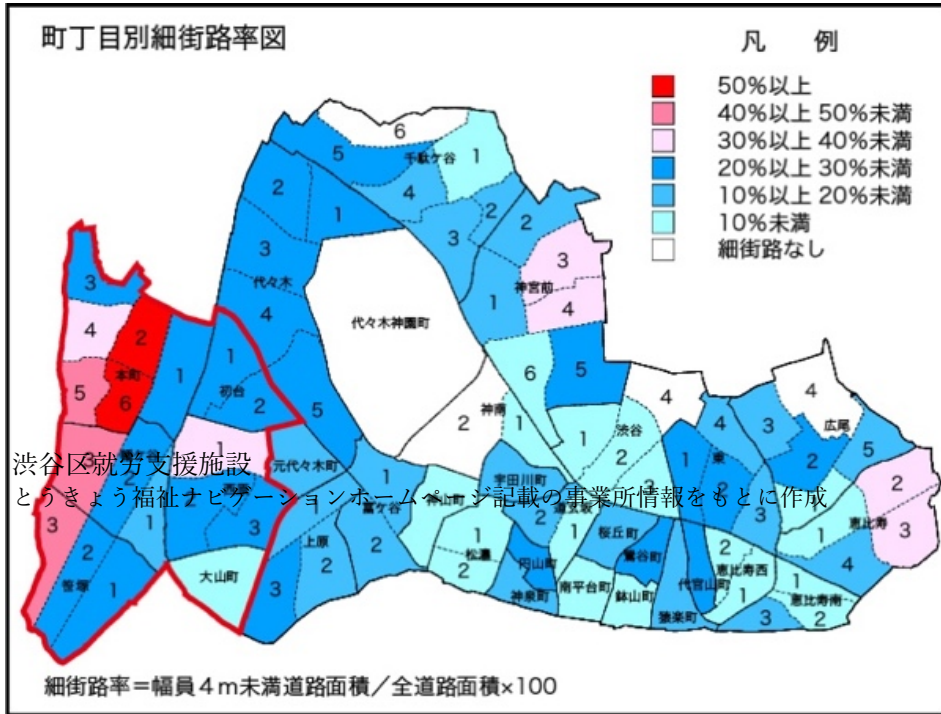


渋谷区就労支援施設

とうきょう福祉ナビゲーションホームページ記載の事業所情報をもとに作成

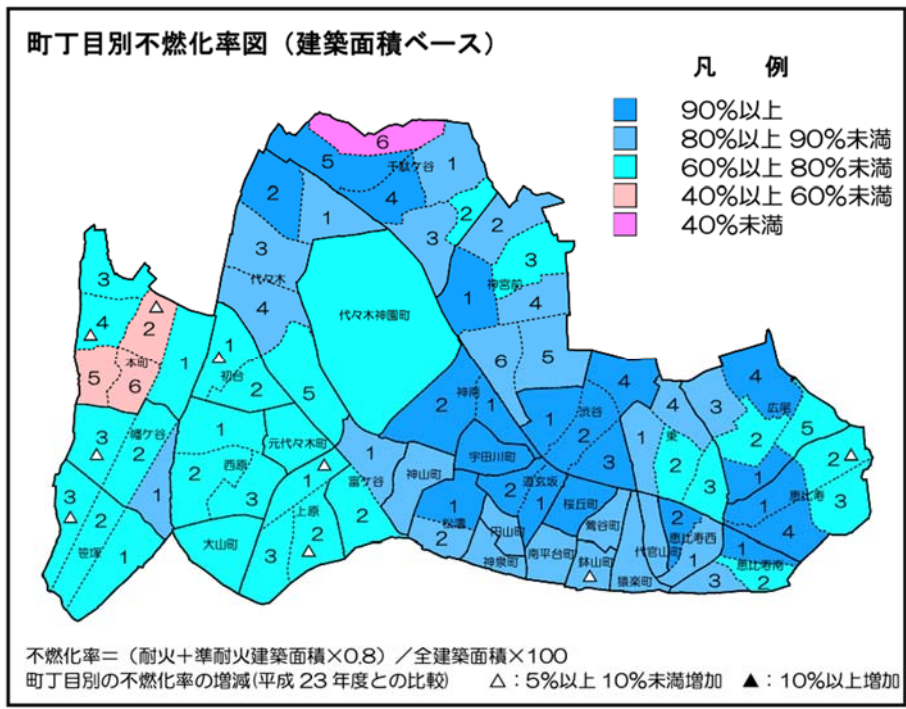
③ 狭い道路があり、防災上の課題がある

特に甲州街道の北部、本町エリアは幅 4m 未満の狭い道路の割合が高く、防災上の課題があります。「本町地区防災都市づくりランドデザイン検討会」においても、木造密集市街地の解消や避難場所、人とのつながりを強くするための取り組みについて検討が行われています。



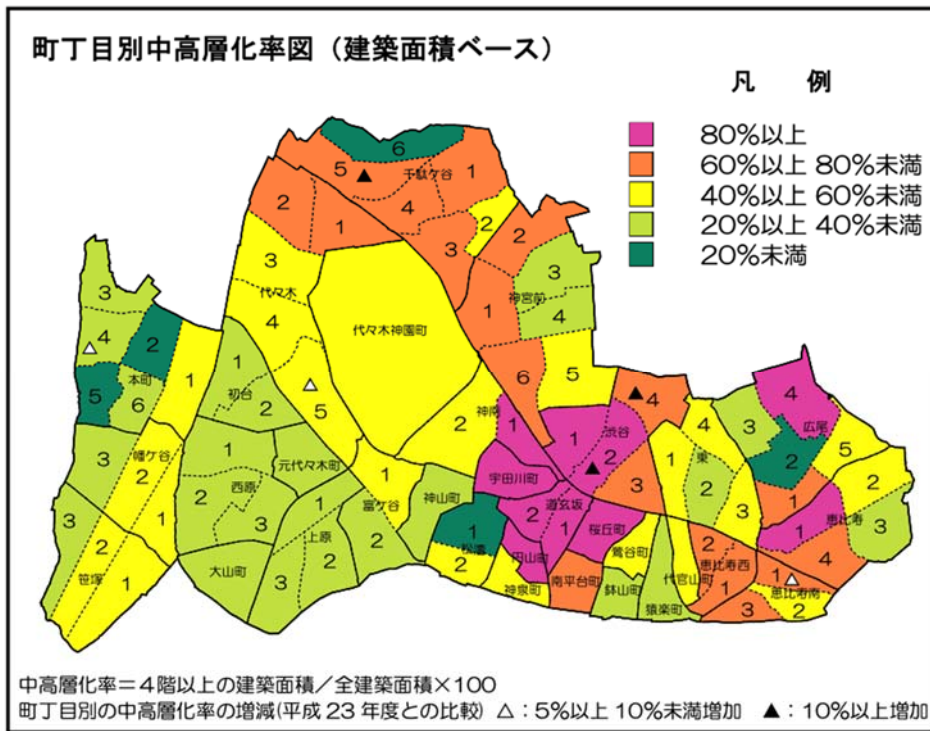
ササハタハツエリアの細街路率図
出典：H28 年度渋谷区土地利用現況調査

本町地区（2丁目・5丁目・6丁目）は、渋谷区全体の中でも不燃化率が低い状況です。



ササハタハツエリアの不燃化率図
出典：平成 28 年渋谷区土地利用現況調査

甲州街道沿いは高層階の建築物は多いですが、背後地は比較的low層～中高層となっています。また、本町地区（2丁目・5丁目）は、第一種住居地域ですが、第一種低層住居専用地域の西原地区等と比べ、中高層化率が低く、建物の更新があまりされていない現状があります。



ササハタハツエリアの中高層化率図
 出典：平成 28 年渋谷区土地利用現況調査



低層の住宅が多く建ち並ぶ本町地区



低層だけでなく、中高層の住宅も並ぶ西原地区



細い街路が多く、防災上課題のある本町地区

特徴 A 「コミュニティ・暮らし」の強み

- ・多くの居住者がいるエリアであり、多様なコミュニティ活動が行われています。
- ・現在も人口が増加傾向であり、賑わいの維持が期待されます。
- ・ササハタハツエリアに関係のある方々へのアンケートでは、「住みやすい」「便利である」といったイメージを持つ方が7割以上を占めました。

特徴 A 「コミュニティ・暮らし」の弱み

- ・コミュニティを支える公共施設の中には築年数が経過し老朽化しているものがあり、その機能確保が必要です。
- ・狭い道路が多く、災害時の避難や延焼等の課題があります。安全・安心の確保のためには、ハード的な解決だけでなく、多様な世代のつながりをつくっておくことが重要ですが、不十分であるという声も挙がっています。
- ・高齢者人口が上昇している一方、医療福祉系産業の従業者数が少なく、エリア内での医療福祉サービスの充実を図る必要があります。
- ・各エリアに足りないまちの機能・施設を新設する余白がありません。

【特徴 B 自然・環境】

玉川上水旧水路緑道を中心に、身近に自然を感じることができるまち

【現状】

① 玉川上水旧水路緑道をはじめ、緑地が身近に存在

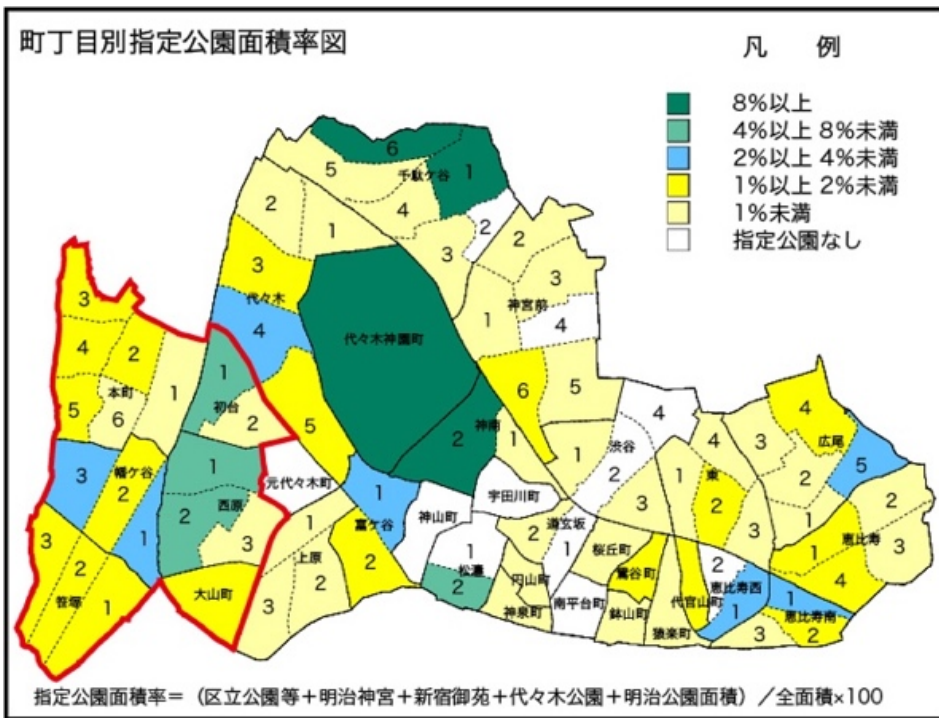
公園などのパブリックスペースは、自然に触れ合い憩える、日々の生活の中で重要な空間であり、また、様々な市民活動・コミュニティ醸成の場ともなる場所です。特に、ササハタハツエリアを横断する玉川上水旧水路緑道は緑が豊富であり、都市の中にある貴重な自然空間です。渋谷区の事業で玉川上水旧水路緑道再整備計画が進んでいます。(P.12 参考)

甲州街道の南部は公園面積率が 4%以上 8%未満と比較的高い割合で分布していますが、北部は 2%未満と低い数値となっています。

また、公園以外でも、再開発が行われたエリアには、公開空地が整備されている箇所もあります。緑地の創出と保全は、ヒートアイランド現象の緩和、都市型水害の抑制など、気候変動対策としても重要です。

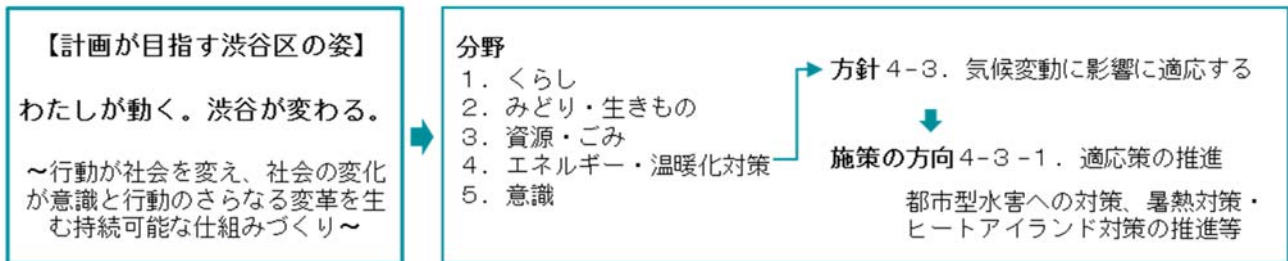


甲州街道南部には玉川上水旧水路緑道をはじめ、緑地が豊富



ササハタハツエリアの指定公園面積率図
 出典：H28 年度渋谷区土地利用現況調査

■渋谷区環境基本計画 2018 における施策の位置づけ



■玉川上水旧水路緑道再整備イメージ コンセプト「FARM※」



出典：渋谷区ホームページ、第1回ササハタハツ会議 LETTER 第1号 (PDF)、設計進捗報告資料 (PDF) より抜粋

URL：<https://www.city.shibuya.tokyo.jp/kankyo/machi/sasahata/sasahatahatukaigi.html>

※玉川上水旧水路緑道再整備コンセプト「FARM」・・・

「農」や「食」をテーマに地域の暮らしを豊かにするだけでなく、緑道から新たな「創造活動」を育てるという2つの意味を持つ。

② パブリックスペースの利用状況がまちまち

各エリアに公園はありますが、利用されている公園もあれば、十分に利用されていないものもあります。利用されている公園は、例えば保育園に近く、お迎え後に子供たちが遊んでいる姿が見られます。逆に保育園に近いものの、利用されていない公園もあります。

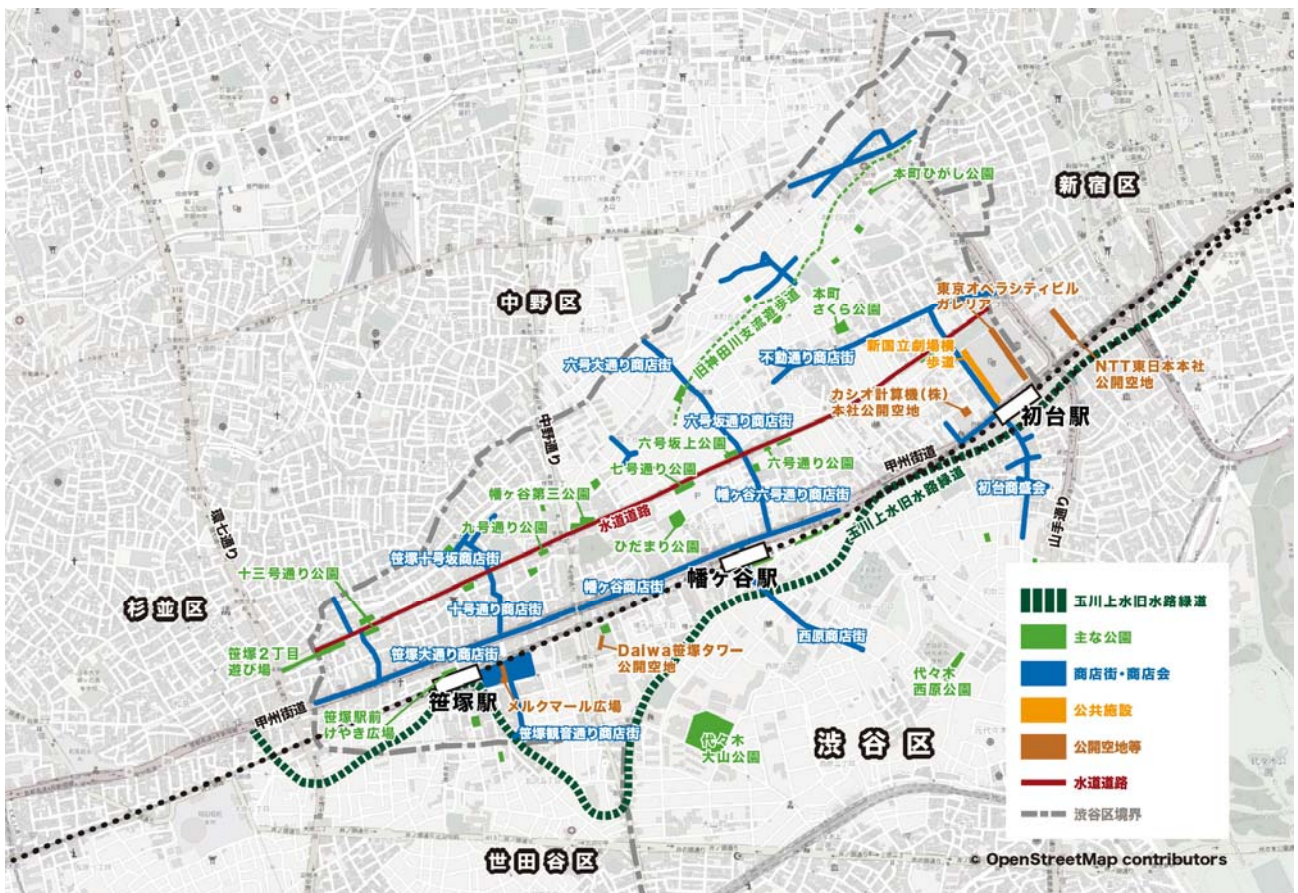


夕方、賑わう公園（区立幡ヶ谷ひだまり公園）



左の同時時間帯、比較的活用されていない公園（水道道路沿線）

■パブリックスペース・商店街の分布



ササハタハツエリアビジョン検討委員会「パブリックスペース分科会」「文化・芸術・歴史分科会」における調査結果及び渋谷区まちづくりマスタープランを元に作成。

※公開空地等・・・ビルやマンションの敷地内に設けられた広場や遊歩道、ピロティなどの空地のこと。ビルやマンションの利用者だけでなく、周辺住民や通行人など、一般の人でも利用できる。

③ 将来的な老朽化や維持管理不足は課題

公園の中には、老朽化した遊具や案内板、樹木の維持管理不足なども見られます。玉川上水旧水路緑道基本計画においても、既存公園施設の便所や遊具等の施設老朽化が指摘されています。



公園内には年数が経過した遊具や東屋なども。



十分に活用されていない公園も点在。

特徴 B 「自然・環境」の強み

- ・ササハタハツエリアは、都心部にありながら、玉川上水旧水路緑道を始め、身近に自然に触れられる機会の多いエリアです。
- ・玉川上水旧水路緑道は「FARM」というコンセプトで再整備が検討されており、新たな機能向上や農・食を通じたコミュニティ形成も期待されます。
- ・各エリアに公園が存在し、コミュニティ活動の場としても活用が可能です。

特徴 B 「自然・環境」の弱み

- ・老朽化や維持管理不足が課題であり、そのことにより利活用しにくい印象を受けることがあります。
- ・アンケートからは、「公園の不足」「質の改善」に関する意見が挙がっています。近隣の利用者のニーズを踏まえ、有効に利活用される仕組みが必要です。

【特徴C 商業・賑わい】

商店街を中心に、様々な魅力ある個店が集積するまち

① ササハタハツの各エリアには、古くから商店街が形成

ササハタハツエリアには、各駅を中心に商店街が形成されています。食料品店や日用品店、飲食店などが立地し、暮らしを支える店舗が充実しています。それぞれの商店街に歴史があり、都心にありながら「温かみのある」「古き良き」といった雰囲気を味わうことができます。地域密着型の店舗も多く、商店街を通じて地域の方々とのつながりが持てることも魅力です。

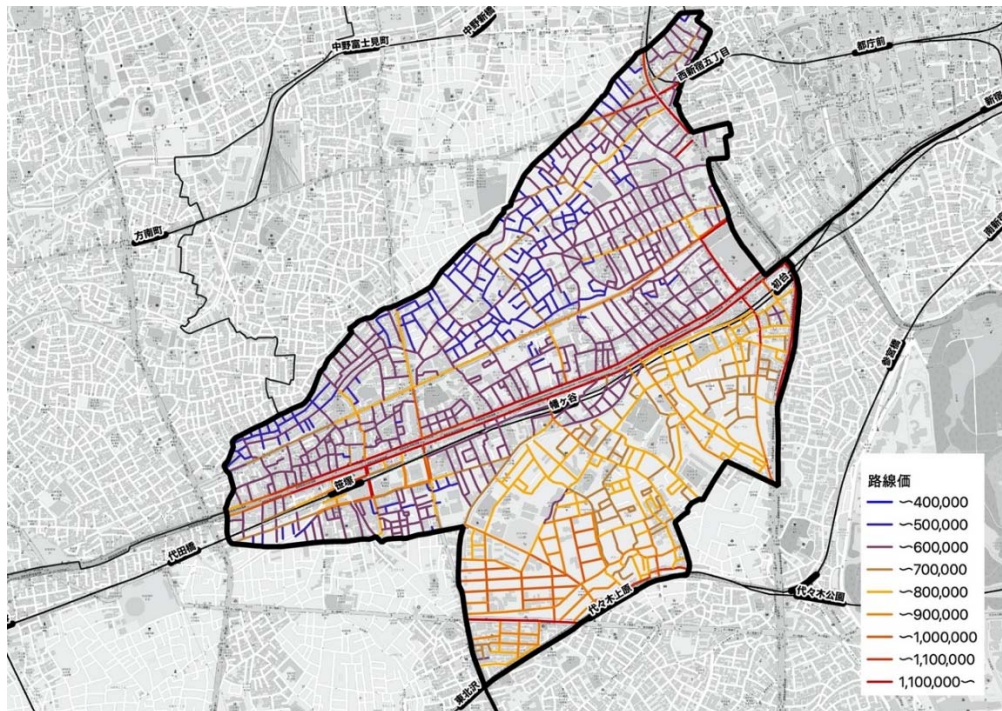
第1回アンケート（2021年1月～2月実施）で街のイメージとして「商店街」と答えた方が7割以上と多く、残ってほしい街のイメージでも6割以上の方が答えています。



商店街には多くの方が来訪し、駅までの通行ルートとしても使われている。

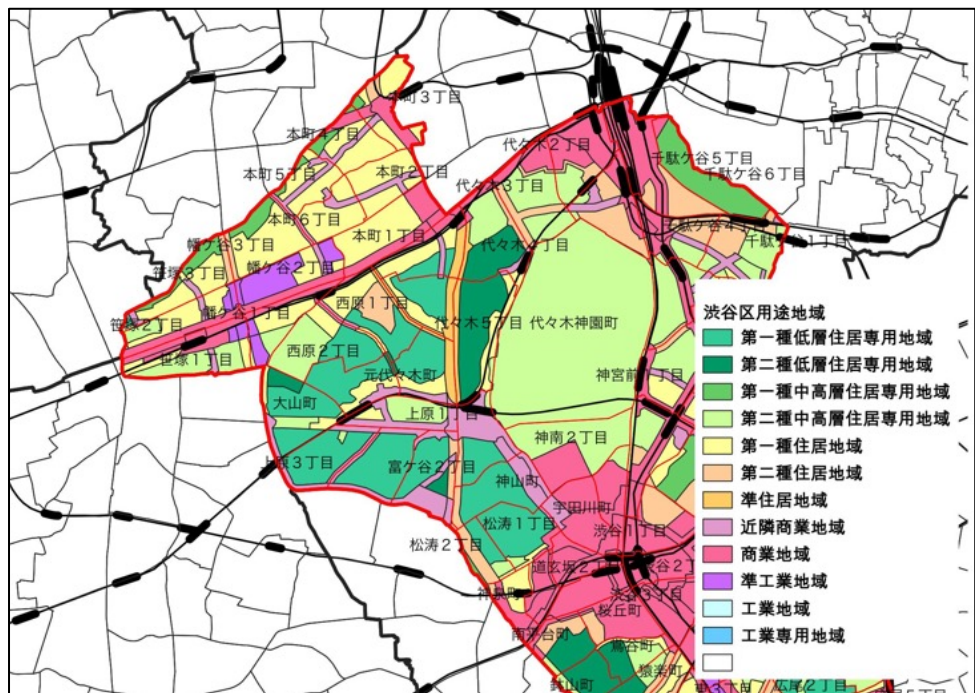


地域密着型の店舗も多く立地。



土地の評価の一つである路線価は甲州街道沿線が最も高く、エリア北部に比べ、エリア南部が高くなっています。駅周辺では、近年再開発が行われた笹塚駅周辺が高くなってきている。出典：令和2年度財産評価基準書

各駅や甲州街道沿線を中心に商店街やオフィスビルなどの商業・業務機能が集積。その後背地に住宅街が形成しており、概ね計画の用途地域に沿った形で分布しています。



ササハタハツエリアの用途地域
出典：「国土数値情報（用途地域データ）」（国土交通省）

② 個性ある魅力的な個店が増えつつある

駅周辺や商店街沿い以外においても、路地沿いなどに雰囲気の良い魅力的な個店が増えつつあります。そのような個店の広がりには街の賑わいにつながるとともに、ササハタハツエリアを巡る楽しさの一つにもなります。



西原地区に増えつつある個性的な店舗。



新たな店舗の立地は、街の活性化に寄与。

③ 今後さらなる活用の可能性がある空間も

ササハタハツエリアには各駅前に商店街がありますが、それぞれの場所で完結しているため、各駅を超えて回遊したり、つながり合う活動はまだ少ない状況です。

現在再整備が計画されている玉川上水旧水路緑道や、未利用空間がある水道道路沿いの都営住宅など、各駅を越えてつなげるルートとして活用が期待される空間もあります。



玉川上水旧水路緑道沿いの一部店舗は公園に面して展開。



水道道路沿線の都営住宅1階は未利用空間が存在。

特徴 C 「商業・賑わい」の強み

- ・各駅前に商店街を有し、日常の買い物などの利便性があるだけでなく、地域のコミュニティを支える場にもなっています。
- ・昔ながらの商店街からは風情も感じられ、都心にありながら温かみのある雰囲気を楽しむことができます。
- ・古い建築物は多いですが、丁寧にリノベーションされた個性的な店舗も増えつつあります。個店の中には、集客だけでなく文化発信の拠点にもなっており、地域のイメージ向上に寄与しています。

特徴 C 「商業・賑わい」の弱み

- ・各駅個別で成り立っており、エリア全体で回遊・散策する動きはまだ少ない状況です。
- ・エリア内には古い建築物も多く、空き店舗・未利用地の利用促進、リノベーションの推進などが求められます。

【特徴 D 歴史・文化・創造】

まちの歴史を土壌に、新たな文化や魅力が生まれるまち

① 地域固有の歴史・文化の重層性を感じることができる

江戸の台地に開かれた水脈・玉川上水を始め、水の記憶が残る道路やかつての橋の番号が付いた活気ある商店街など、地域固有の歴史・文化が様々な場所から感じることができます。単に歴史ある場所が残るだけでなく、玉川上水旧水路緑道のように、歴史の上に現在の街並みがある「重層性」を感じることができる点も特徴です。



玉川上水旧水路緑道に残る橋の高欄。



玉川上水にかけられた「六号橋」が由来の幡ヶ谷六号通り商店街。

玉川上水旧水路緑道の歴史 / 玉川上水旧水路緑道基本構想（H29）を一部再編

江戸時代、飲料水の確保のため、幕府は承応 2(1653)年、多摩川の水を江戸に流し入れる玉川上水を開削。水の乏しい武蔵野台地に多く分水され、飲料水や農業用水に利用されました。明治時代に近代水道の建設が進められたものの、導水路として引き続き使用され、代田橋付近から淀橋上水場までを結ぶ「玉川上水新水路」が明治 31(1898)年に完成しました。しかし、その後昭和 40(1956)年に利根川から東京に導水する「武蔵水路」が建設されたため、小平監視所からの下流部は導水路としての使命を終えました。

渋谷区内を流れていた玉川上水は、昭和 50 年代以降、笹塚駅付近の一部を残し、暗渠化され、その上部が緑道として整備されました。往時の遺構を残す緑豊かな空間となり、区民から深く親しまれています。平成 15(2003)年には、羽村取水口から四谷大木戸までのうち開渠区間が国の史跡に指定されました。

② ササハタハツに関わる人々によるチャレンジを支える環境を有する

このエリアには、就労支援の施設やシルバー人材センター等の、多様な働き方を支援する施設があり、もともと多様な人の働きたいという気持ちをサポートする施設がある地域です。

ササハタハツまちラボのフューチャーセッションやプロジェクトの支援をとおして、ササハタハツエリアをさらに魅力的な街にするために活動する方が増えてきました。また、セッションをきっかけに新たな関係性が生まれ、エリアを越えた連携につながった事例もあります。

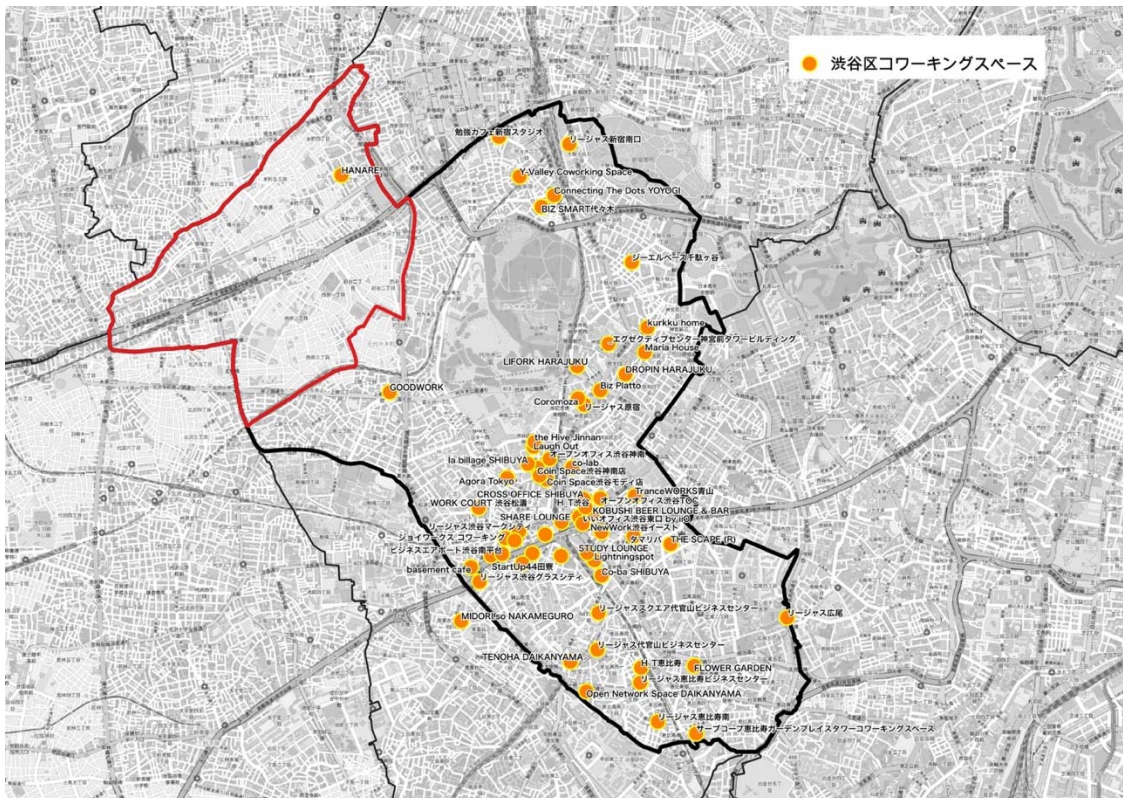
また、渋谷区内には多くのコワーキングスペースがあるものの、ササハタハツエリアには1件しかなく、多様な方が働きやすい環境は整っているとは言い難い状況です。

今後も、住んでいる人・学んでいる人・働いている人・訪れる人など多様な主体が共創しながら、まち全体がチャレンジする人・活動を育み、コワーキングスペース等の応援する環境を作っていく必要があります。



「ササハタハツまちづくりフューチャーセッション」には、様々な関わりのある人が参加。

「ササハタハツ新聞」など、地域の情報を発信するメディアも。



コワーキングスペースの分布
ワークスペースジャパンホームページ及びナレッジソサエティホームページ記載情報をもとに作成

特徴 D「歴史・文化・創造」の強み

- ・地域固有の歴史・文化があり、その重層性がエリアの個性として現れています。
- ・まちづくりに取り組む人が連携し合う環境があり、さらなる展開が期待されます。

特徴 D「歴史・文化・創造」の弱み

- ・地域固有の歴史・文化や新国立劇場などの文化施設があるにもかかわらず、アンケート調査では「歴史性がある」「文化・芸術・音楽に触れられる、行える」などに関する評価が低い状況であり、街の様々な歴史・文化が浸透していないと考えられます。
- ・新しいチャレンジやビジネスを受け入れる場は十分ではありません。
- ・ササハタハツのまちづくりの認知度は十分ではありません。エリアをさらに盛り上げていくため、地域のブランド化・発信などに取り組む必要があります。

【エリアの特徴まとめ】

特徴 A コミュニティ・暮らしの【強み】	特徴 A コミュニティ・暮らしの【弱み】
<ul style="list-style-type: none"> ・ 多くの居住者がいるエリアであり、多様なコミュニティ活動が行われています。 ・ 現在も人口が増加傾向であり、賑わいの維持が期待されます。 ・ ササハタハツエリアに関係のある方々へのアンケートでは、「住みやすい」「便利である」といったイメージを持つ方が7割以上を占めました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ コミュニティを支える公共施設の中には築年数が経過し老朽化しているものがあり、その機能確保が必要です。 ・ 狭い道路が多く、災害時の避難や延焼等の課題があります。安全・安心の確保のためには、ハード的な解決だけでなく、多様な世代のつながりをつくっておくことが重要ですが、不十分であるという声も挙がっています。 ・ 高齢者人口が上昇している一方、医療福祉系産業の従業者数が少なく、エリア内での医療福祉サービスの充実を図る必要があります。 ・ 各エリアに足りないまちの機能・施設を新設する余白がありません。
特徴 B 自然・環境の【強み】	特徴 B 自然・環境の【弱み】
<ul style="list-style-type: none"> ・ ササハタハツエリアは、都心部にありながら、玉川上水旧水路緑道を始め、身近に自然に触れられる機会の多いエリアです。 ・ 玉川上水旧水路緑道は「FARM※」というコンセプトで再整備が検討されており、新たな機能向上や農・食を通したコミュニティ形成も期待されます。 ・ 各エリアに公園が存在し、コミュニティ活動の場としても活用が可能です。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 老朽化や維持管理不足が課題であり、そのことにより利活用しにくい印象を受けることがあります。 ・ アンケートからは、「公園の不足」「質の改善」に関する意見が挙がっています。近隣の利用者のニーズを踏まえ、有効に利活用される仕組みが必要です

特徴 C 商業・賑わいの【強み】	特徴 C 商業・賑わいの【弱み】
<ul style="list-style-type: none"> ・ 各駅前に商店街を有し、日常の買い物などの利便性があるだけでなく、地域のコミュニティを支える場にもなっています。 ・ 昔ながらの商店街からは風情も感じられ、都心にありながら温かみのある雰囲気味わうことができます。 ・ 古い建築物は多いですが、丁寧にリノベーションされた個性的な店舗も増えつつあります。個店の中には、集客だけでなく文化発信の拠点にもなっており、地域のイメージ向上に寄与しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各駅個別で成り立っており、エリア全体で回遊・散策する動きはまだ少ない状況です。 ・ エリア内には古い建築物も多く、空き店舗・未利用地の利用促進、リノベーションの推進などが求められます。
特徴 D 歴史・文化・創造の【強み】	特徴 D 歴史・文化・創造の【弱み】
<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域固有の歴史・文化があり、その重層性がエリアの個性として現れています。 ・ まちづくりに取り組む人が連携し合う環境があり、さらなる展開が期待されます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域固有の歴史・文化や新国立劇場などの文化施設があるにもかかわらず、アンケート調査では「歴史性がある」「文化・芸術・音楽に触れられる、行える」などに関する評価が低い状況であり、街の様々な歴史・文化が浸透していないと考えられます。 ・ 新しいチャレンジやビジネスを受け入れる場は十分ではありません。 ・ ササハタハツのまちづくりの認知度は十分ではありません。エリアをさらに盛り上げていくため、地域のブランド化・発信などに取り組む必要があります。

2. ササハタハツエリア立地特性分析

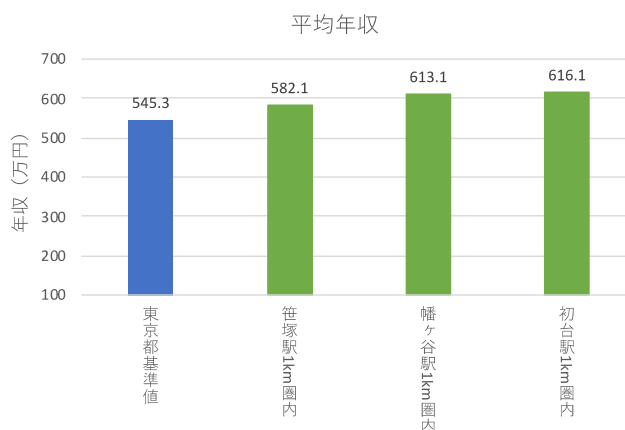
ササハタハツエリアの立地特性を把握することを目的に、笹塚駅、幡ヶ谷駅、初台駅 1km 圏内と、東京都基準値および他地区の駅を比較しました。なお、その際のデータは 2014 年（平成 26）経済センサス、2015 年（平成 27）国勢調査等を用いました。

2.1. 東京都基準値との比較

ササハタハツエリアの笹塚駅、幡ヶ谷駅、初台駅の 1km 圏内と東京都基準値について比較しました。各圏内居住住民の平均年収は、東京都基準値と比べて同等もしくは高い傾向にあります。また、人口増減率は幡ヶ谷駅、初台駅で特に高い状況です。住宅については、賃貸居住割合が高い状況です。産業別就業者割合は、構成・割合は概ね都の基準と同程度ですが、幡ヶ谷・初台駅については医療・福祉系の産業人口が少ない傾向にあります。幡ヶ谷駅は飲食等のサービス業が高い状況です。また、初台駅では、情報通信業が高く、サービス関連の産業が比較的割合が低い傾向にあります。

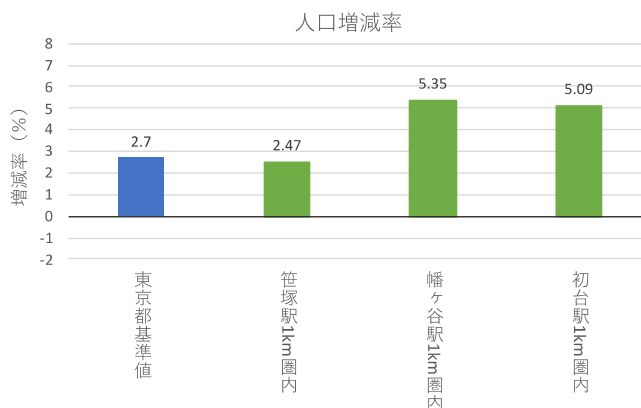
①平均年収

東京都基準値と比べて、ササハタハツ・各駅周辺住民の年収は、同等もしくは 50 万円程度高い。



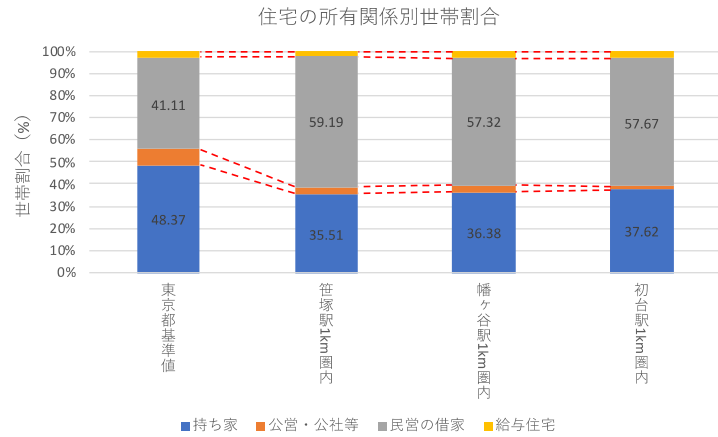
②人口増減率 (H22—H27)

ササハタハツエリアの各駅周辺の人口は、すべての地区で増加している。特に、幡ヶ谷駅、初台駅は東京都基準値の倍近い割合で増加している。



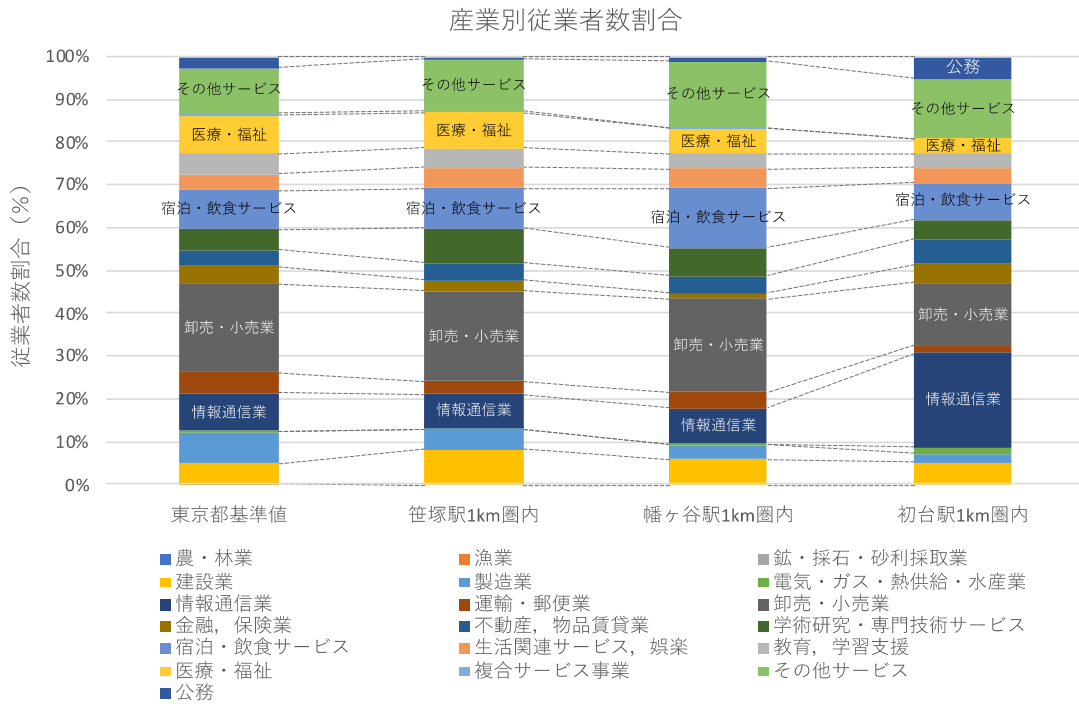
③住宅の所有関係別世帯割合

ササハタハツエリアの各駅周辺の住民の住宅は、約6割が民営の借家(賃貸)である。東京都の基準値に比べて持ち家が少なく、借家の割合が高い。



④産業別従業者数割合

ササハタハツエリアの各駅周辺では、東京都基準値と概ね同様の産業割合の傾向が見られる。特筆すべき点としては、幡ヶ谷・初台駅周辺に医療・福祉系の産業が少ない。幡ヶ谷駅は飲食等のサービス業が高い。また、初台駅では、情報通信業が多く、サービス関連の産業が比較的割合が低い。



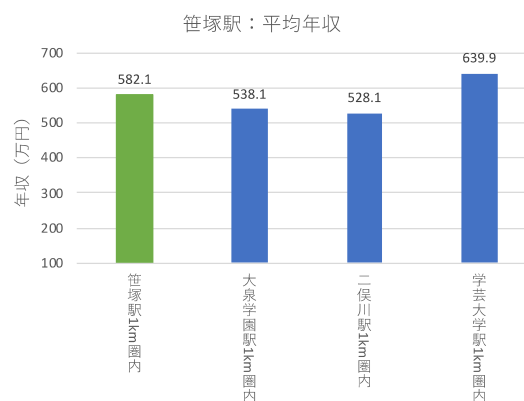
2.2. 乗降客数が同程度の駅との比較

(1) 笹塚駅

笹塚駅 1km 圏内と、乗降客数が同程度の他路線の駅として大泉学園駅、二俣川駅、学芸大学駅の 1km 圏内を比較しました。平均年収は、他路線 3 駅の平均程度でした。また、人口増減率は高く、増加傾向にあり、賃貸住宅の割合も高い状況です。産業別従業者数の割合は、医療・福祉系の産業が少なく、その他サービス、学術研究・専門技術サービス系、情報通信業、建設業の割合が他駅に比べて高い状況です。

①平均年収

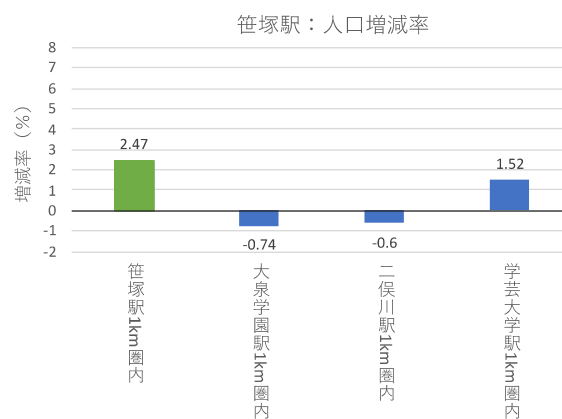
笹塚駅周辺に居住する住民の平均年収は、乗降客数が同程度の 3 駅と比べて、学芸大学駅より低く、大泉学園駅および二俣川駅より高く、3 駅の平均程度である。



②人口増減率

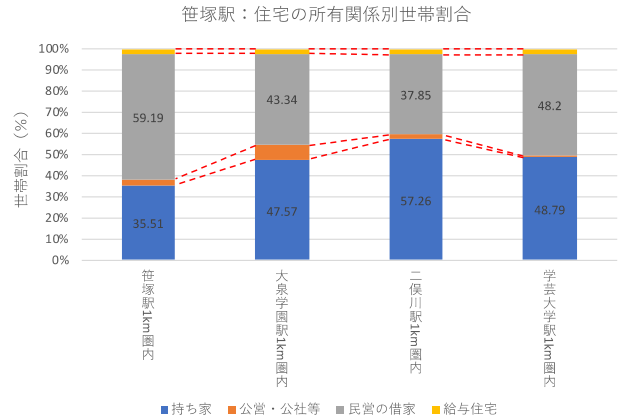
(H22—H27)

笹塚駅周辺の人口増減率は、他駅よりも高く、増加傾向にある。



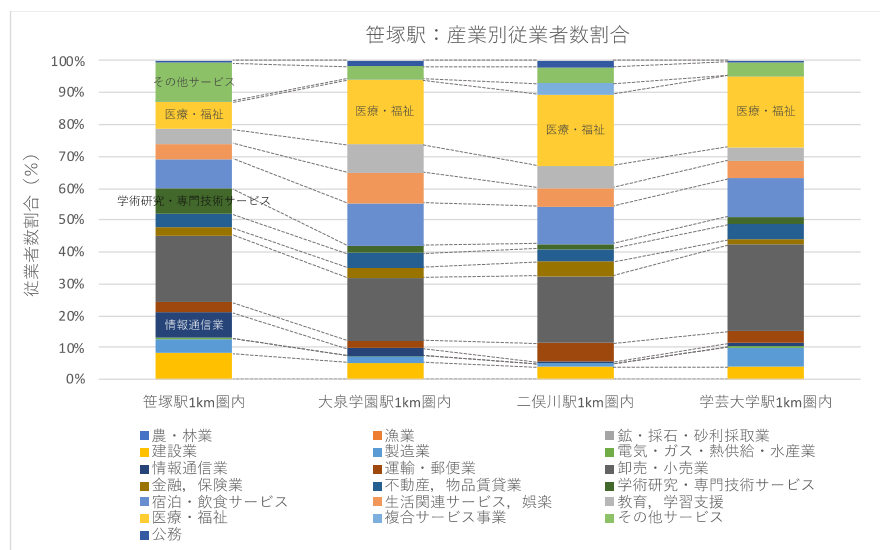
③住宅の所有関係別世帯割合

笹塚駅周辺の住民の住宅は、他駅よりも持ち家の割合が低く、民営の借家（賃貸）の割合が高い。



④産業別従業者数割合

笹塚駅周辺では、乗降客数が同程度他駅と比べて医療・福祉系の産業が少なく、その他サービス、学術研究・専門技術サービス系、情報通信業、建設業の割合が高い。

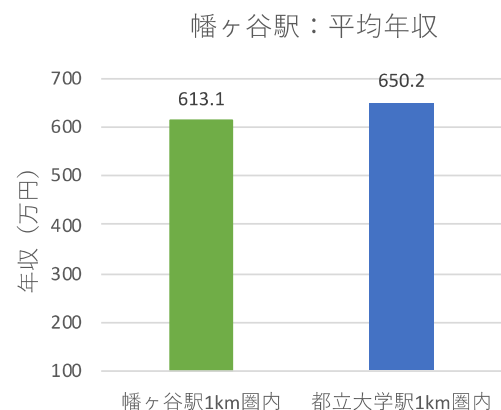


(2) 幡ヶ谷駅

幡ヶ谷駅 1km 圏内と、乗降客数が同程度他路線の駅として都立大学駅の 1km 圏内を比較しました。幡ヶ谷駅は都立大学駅と比較して平均年収は若干低い状況です。人口増加率はどちらも高いですが、幡ヶ谷駅は 5%程度とより増加率が高い状況です。また、賃貸住宅の割合が高いです。都立大学駅に比べて、医療・福祉系、教育・学習支援、卸売・小売業の割合も低く、その他サービス、学術研究・専門技術サービス、情報通信業、建設業の割合が高い傾向にあります。

①平均年収

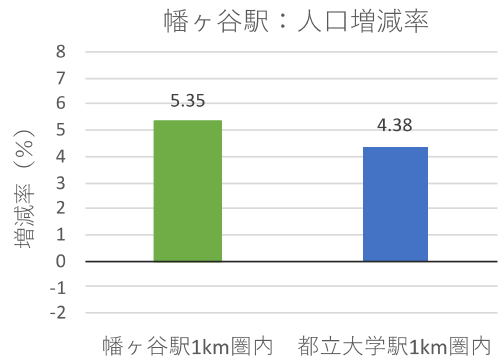
笹塚駅周辺に居住する住民の平均年収は、乗降客数が同程度の都立大学駅と比べて、若干低い。



②人口増減率

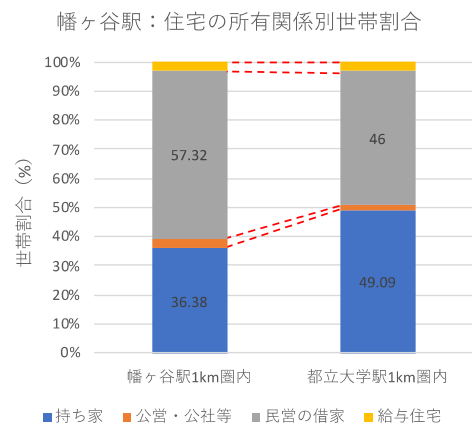
(H22—H27)

幡ヶ谷駅は都立大駅よりも増加率が高く、5%以上と増加傾向である。



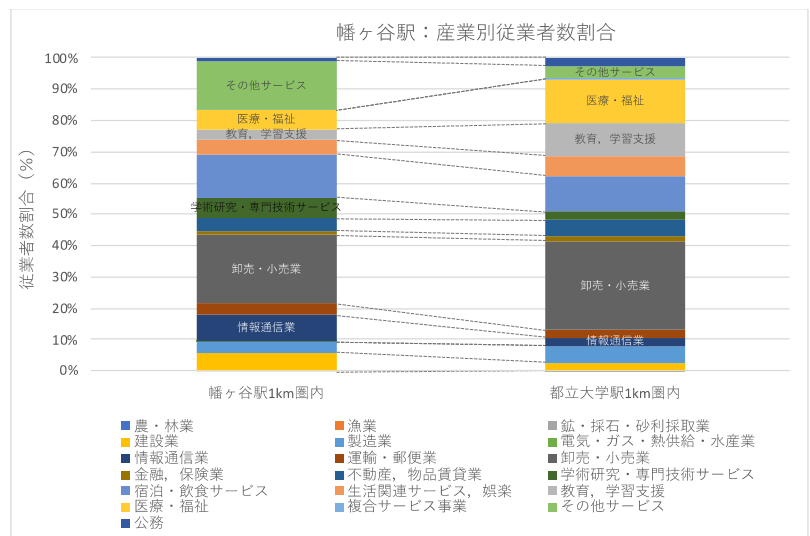
③住宅の所有関係別世帯割合

幡ヶ谷駅周辺の住民の住宅は、都立大学駅よりも持ち家の割合が低く民営の借家（賃貸）の割合が高い。公営・公社も若干高い。



④産業別従業者数割合

幡ヶ谷駅周辺では、乗降客数が同程度の都立大学駅と比べて、医療・福祉系の産業が少なく、その他サービス、学術研究・専門技術サービス、情報通信業、建設業の割合が高い。また、教育・学習支援、卸売・小売業の割合も低い。

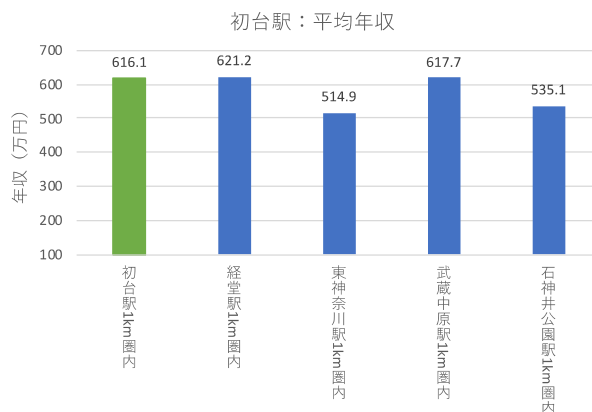


(3) 初台駅

初台駅 1km 圏内と、乗降客数が同程度の他路線の駅として経堂駅、東神奈川駅、武蔵中原駅、石神井公園駅の 1km 圏内を比較しました。初台駅は 4 駅と比較して平均年収は同等または高い傾向があります。人口増加率は 5%程度と比較的増加率が高いです。賃貸住宅の割合が高い状況です。他の駅に比べて、情報通信業の割合が高く、医療・福祉の割合が低い傾向にあります。

①平均年収

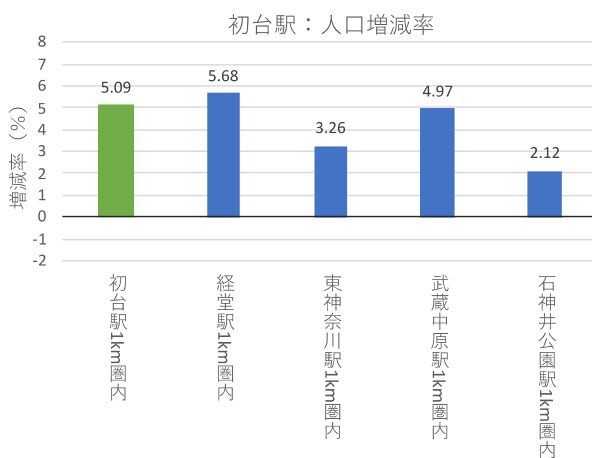
初台駅周辺に居住する住民の平均年収は、乗降客数が同程度の経堂駅、武蔵中原駅と同程度であり、東神奈川駅や石神井公園駅よりも高い。



②人口増減率

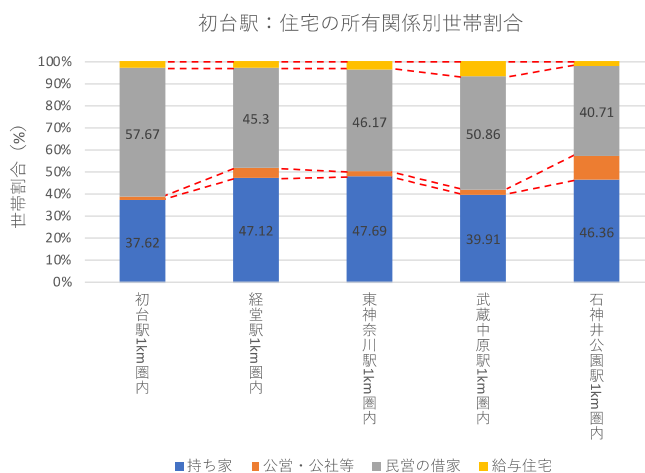
(H22—H27)

初台駅は経堂駅および武蔵中原駅と同程度に5%程度の大幅な増加である。



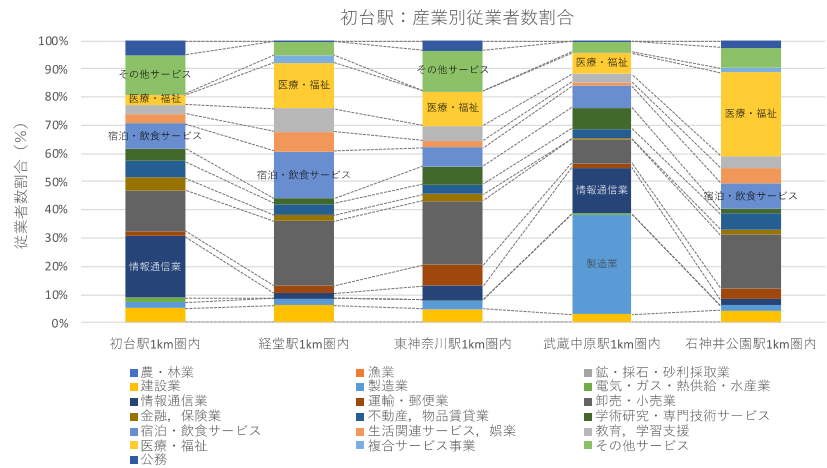
③住宅の所有関係別世帯割合

初台駅周辺の住民の住宅は、他の3駅よりも持ち家の割合が低く、民営の借家（賃貸）の割合が高い。（武蔵中原駅は給与住宅、石神井公園駅は公営・公社等が高い）



④産業別従業者数割合

初台駅周辺では、乗降客数が同程度の4駅と比べ、情報通信業の割合が多く、医療・福祉系が少ない傾向がある。(武蔵中原駅は製造業、石神井公園駅は医療・福祉が高い)

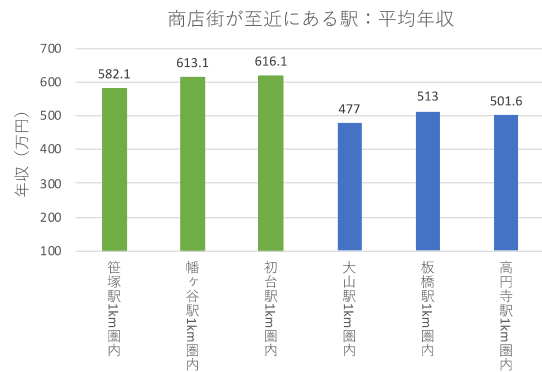


2.3. 商店街が至近にある駅との比較

ササハタハツエリアと、同様に商店街を有する大山駅、板橋駅、高円寺駅と比較しました。ササハタハツエリアの3駅は、他駅とくらべて平均年収が高い傾向にあります。人口増減率は、特に幡ヶ谷駅、初台駅は5%以上と大幅に増加していますが、大山駅、板橋駅に比べて低い状況です。持ち家、借家の割合は大山駅、板橋駅と同程度です。産業は、情報通信業、その他サービスの割合が高く、医療・福祉系が低い傾向にあります。特に幡ヶ谷駅は他と比べて宿泊・飲食サービスとその他サービスが高いです。初台駅は情報通信業が突出し、公務、金融・保険業も比較的高い傾向にあります。

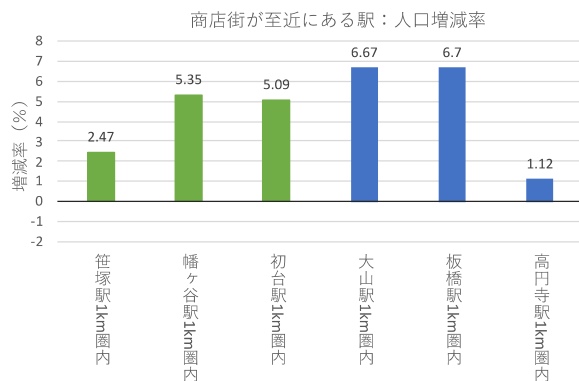
① 平均年収

ササハタハツエリアの3駅周辺に住む住民は、同様に商店街が至近にある大山駅、板橋駅、高円寺駅とくらべて平均年収が高い傾向にある。



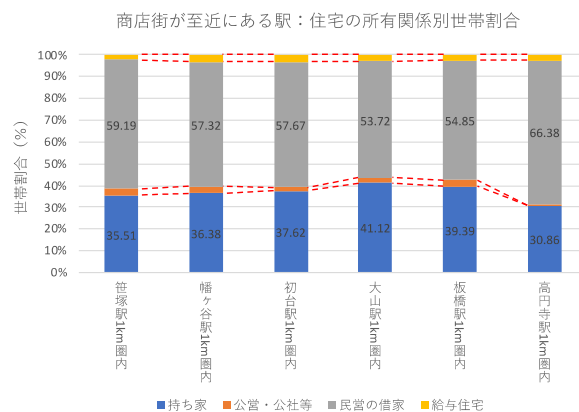
②人口増減率 (H22—H27)

ササハタハツエリアの3駅周辺の人口増加率は特に幡ヶ谷駅、初台駅は5%以上と大幅に増加している傾向があるものの、大山駅、板橋駅に比べて低い。



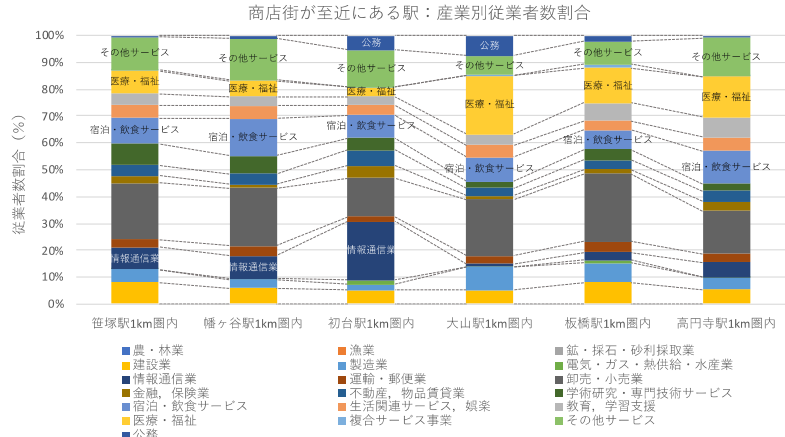
② 住宅の所有関係別世帯割合

ササハタハツエリアの3駅周辺の住宅は、大山駅、板橋駅と持ち家、民営の借家（賃貸）の割合は同程度である。高円寺駅は民営の借家が他駅とくらべて最も高い。



③ 産業別従業者数割合

ササハタハツエリアの3駅周辺では、商店街を有する他の3駅と比べ、情報通信業、その他サービスの割合が高く、医療・福祉系が低い傾向がある。特に幡ヶ谷駅は他と比べて宿泊・飲食サービスとその他サービスが高い。初台駅は情報通信業が突出し、公務、金融・保険業も比較的高い。

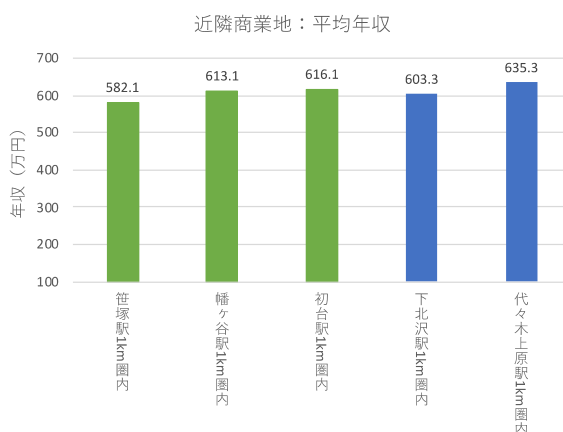


2.4. 近隣商業地の駅との比較

ササハタハツエリアの近隣の商業地の下北沢駅、代々木上原駅と比較しました。ササハタハツエリアの3駅は、他駅とくらべて平均年収は同程度です。人口増減率は、代々木上原駅が非常に高く、それよりも低い状況です。借家の割合が若干高いが、これは他駅と同様の傾向です。産業は、代々木上原駅と概ね似た傾向があるが、情報通信業、その他サービスの割合が高く、下北沢駅に比べて、複合サービス、生活関連サービス・娯楽の割合が低い傾向にあります。

① 平均年収

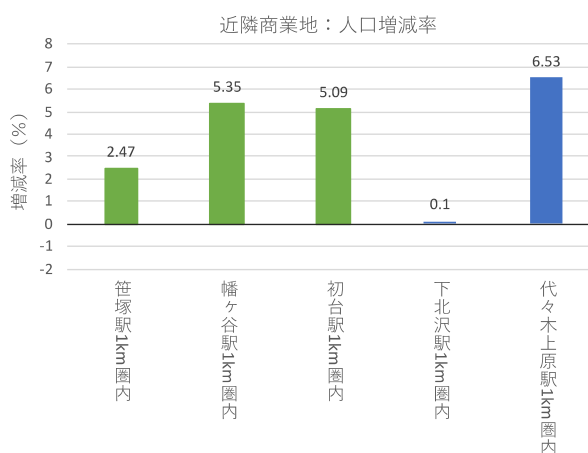
ササハタハツエリアの3駅周辺に住む住民の平均年収は、近隣商業地である下北沢駅、代々木上原駅周辺と同程度である。



②人口増減率

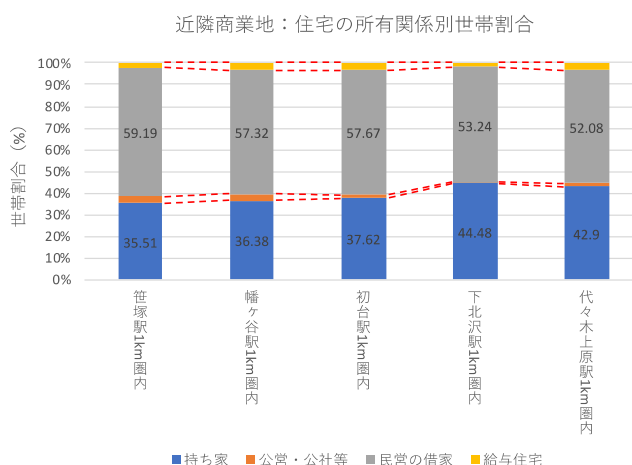
(H22—H27)

ササハタハツエリアの3駅周辺の人口増減率は、代々木上原駅周辺よりも割合は低いものの、増加傾向にある。下北沢駅は維持。



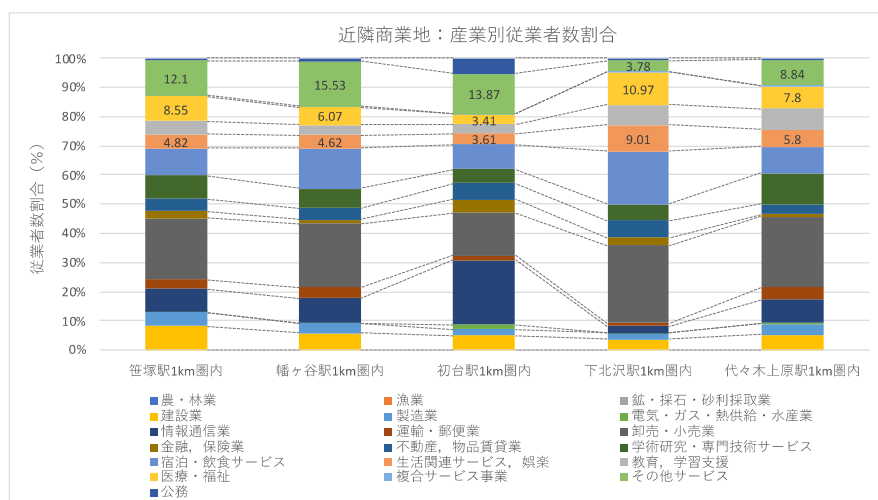
② 住宅の所有関係別世帯割合

ササハタハツエリアの3駅周辺の住宅は、他の2駅と比べて持ち家の割合は低く、民営の借家（賃貸）の割合が高いが、概ね同じ傾向にある。



④産業別従業者数割合

ササハタハツエリアの3駅周辺では、近隣商業地域の2駅と比べ、代々木上原駅と概ね似た傾向があるが、情報通信業、その他サービスの割合が高い。下北沢駅に比べて、複合サービス、生活関連サービス・娯楽の割合が低い。



2.5. まとめ

- ・ 笹塚駅、幡ヶ谷駅、初台駅の1km圏内住民の平均年収は、東京都基準値と比べて同等もしくは高い傾向にあります。乗降客数が同程度の駅と比較すると、笹塚駅および幡ヶ谷駅は平均または低い傾向にありますが、初台駅は比較的高い状況です。
- ・ ササハタハツエリアは商店街が至近にある大山駅、板橋駅、高円寺駅と比較しても平均年収は高く、近隣商業地の下北沢駅、代々木上原駅と同程度です。
- ・ 人口増減率は、笹塚駅は東京都基準値と同程度ですが、幡ヶ谷駅、初台駅で基準値を大きく上回っています。笹塚駅、幡ヶ谷駅は乗降客数が同程度の駅に比べても人口増減率が高い傾向があります。初台駅は経堂駅や武蔵中原駅と同程度の増加率です。しかし、商店街が至近にある大山駅、板橋駅、近隣商業地の代々木上原駅に比べて低い傾向にあります。
- ・ 住宅は、東京都基準値および乗降客数が同程度の他駅に比べて持ち家割合が低く、賃貸住宅が高い傾向にあります。商店街が至近にある大山駅、板橋駅と、また商業地である下北沢駅、代々木上原駅と持ち家・借家割合等は同程度です。
- ・ 産業別従業者数は、概ね都の基準と構成・割合は似ているものの、他の商店街近くの駅と比較して医療・福祉系の産業人口が少ない傾向にあります。笹塚駅、幡ヶ谷駅はその他サービス、学術研究・専門技術サービスが比較的高い、初台駅では、情報通信業が特に高く、サービス関連の産業が比較的割合が低い傾向にあります。
- ・ 近隣商業地である代々木上原駅と概ね似た傾向があるが、情報通信業、その他サービスの割合が高く、下北沢駅に比べて、複合サービス、生活関連サービス・娯楽の割合が低い状況です。

3. アンケート調査の実施

ササハタハツビジョンを策定するにあたり、まちラボでは2020年から2021年度にかけて計4回のアンケートを実施し、ササハタハツエリアに関係する方々の意見をお聞きしました。頂いた意見は、ササハタハツエリアビジョン検討委員会等で共有をし、ビジョンの検討を行う上で参考にしました。

■実施したアンケートについて

年度	名称	内容
2020年度	第1回アンケート	【期間】 2021年1月22日～2月15日 【主な内容】 ・現在のイメージ ・10年後に実現・残ってほしいイメージ ・地域の方々や違う世代の方々との関わりの程度 ・こうなってほしいという思い 等 【回収数】 958件
2021年度	第1回アンケート 個人向け	【期間】 2021年9月21日～10月17日 【主な内容】 ・まちの現状の総合的な満足度 ・まちの現状について、印象や考え。各テーマの満足度 ・それ以外に必要なと思うもの 等 【回収数】 498件
	第1回アンケート 企業向け	【期間】 2021年9月21日～10月17日 【主な内容】 ・まちの現状の総合的な満足度 ・まちの現状について、印象や考え。各テーマの満足度 ・今後取り組みたいこと 等 【回収数】 19件
	第2回アンケート	【期間】 2022年1月31日～2月13日 【主な内容】 ・ビジョンに対する共感度 ・共感できない場合の理由 ・一緒にやりたいことや、できると思ったこと ・ビジョンに対する感想や意見 等 【回収数】 152件

3.1. 2020 年度 第 1 回アンケート

(1) 調査の概要

2020 年度のアンケートでは、ビジョンを検討する上での現状把握を目的とし、現在のササハタハツエリアのイメージや、10 年後に実現・残ってほしいイメージ、地域の方々や違う世代の方々との関わりの程度、こうなってほしいという思いなどについてご意見を伺いました。

【期間】 2021 年 1 月 22 日～2021 年 2 月 15 日

【方法】 Google form を利用したウェブ上での実施

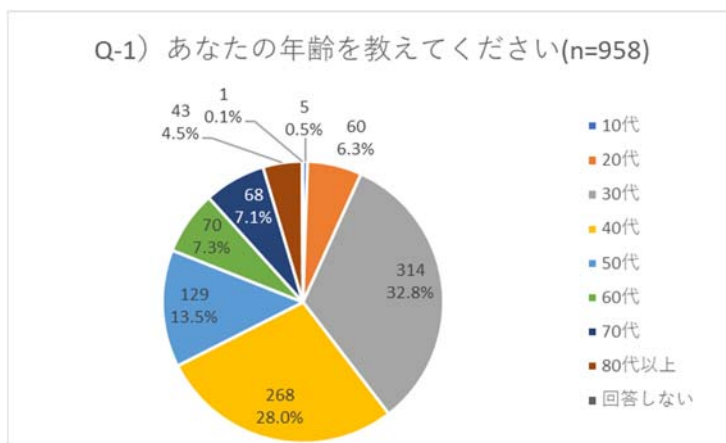
(地域の広場アプリ ピアッツァユーザー、渋谷区 LINE ユーザー等)、
区施設などに設置したアンケート用紙での回答。

【回収数】 958 件 (Web での回答 837 件、紙での回答 121 件)

(2) 設問と主な結果

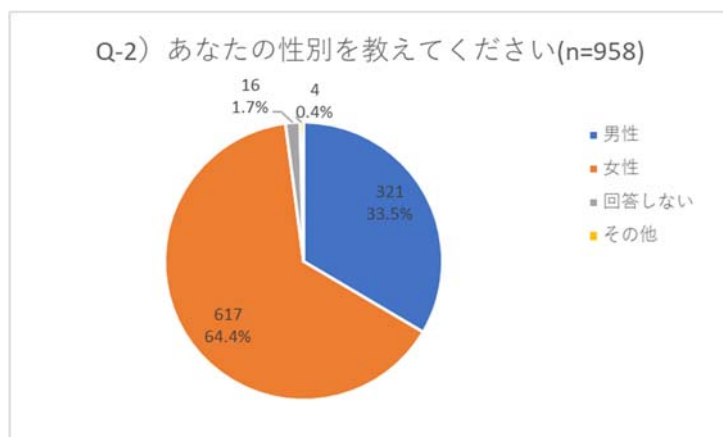
Q-1 あなたの年齢を教えてください。

回答者 958 件のうち、30 代 (32.8%)、40 代 (28.0%) が多く、約 6 割を占めた。



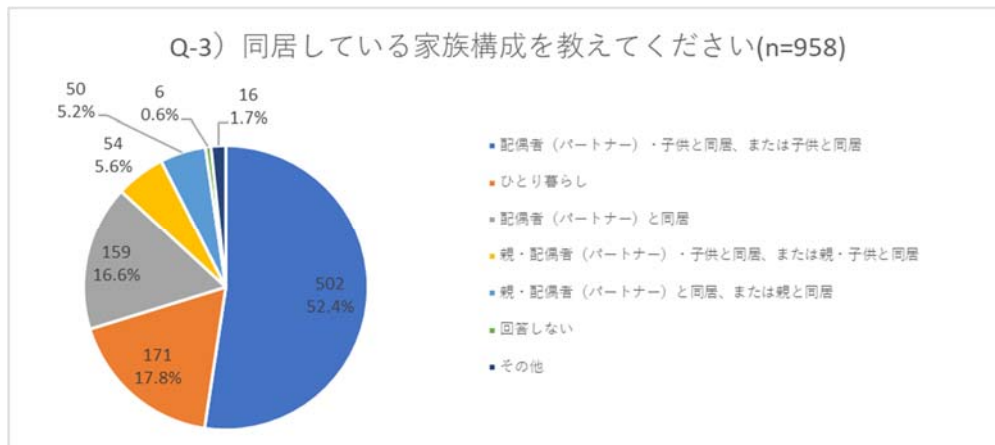
Q-2 あなたの性別を教えてください。

回答者 958 件のうち、約 2/3 が女性であった。



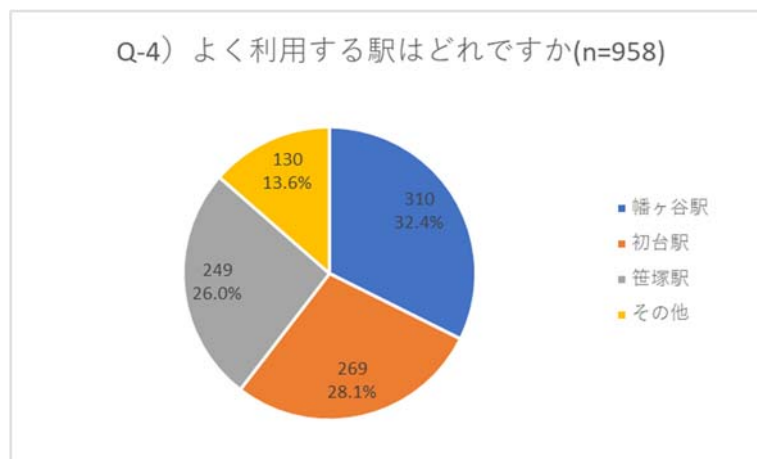
Q-3 同居している家族構成を教えてください。

回答者の半数以上が配偶者・子供と同居するファミリー世帯であった。



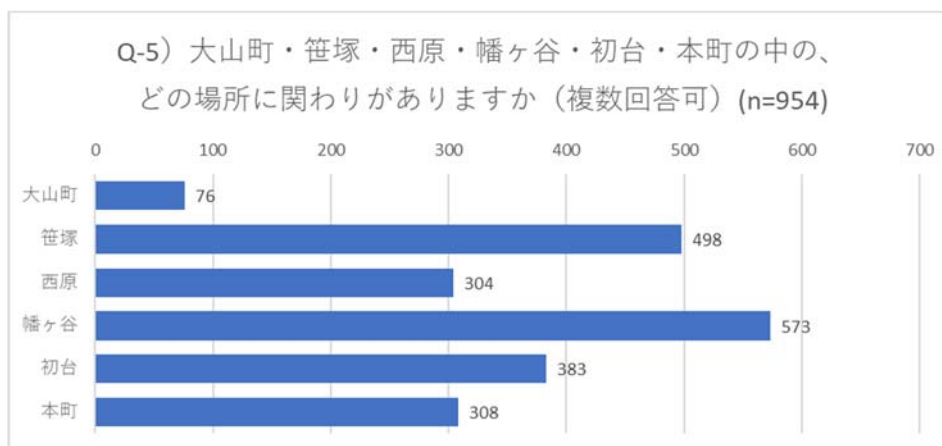
Q-4 よく利用する駅はどれですか。

笹塚駅、幡ヶ谷駅、初台駅の各駅とも約3割ずつの回答であり、利用駅でみると大きな偏り無く回答を得られていた。



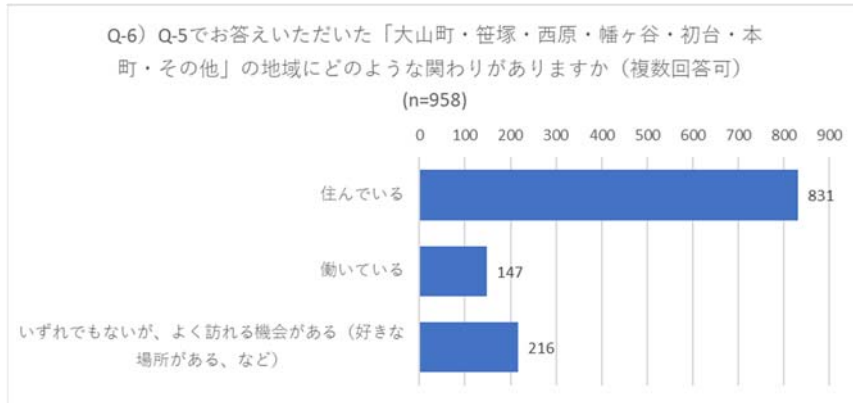
Q-5 大山町・笹塚・西原・幡ヶ谷・初台・本町の中のどの場所に関わりがありますか（複数回答可）。

回答者の約6割が幡ヶ谷に関わりがあり、次いで約5割の方が笹塚に関わりがあるという結果であった。



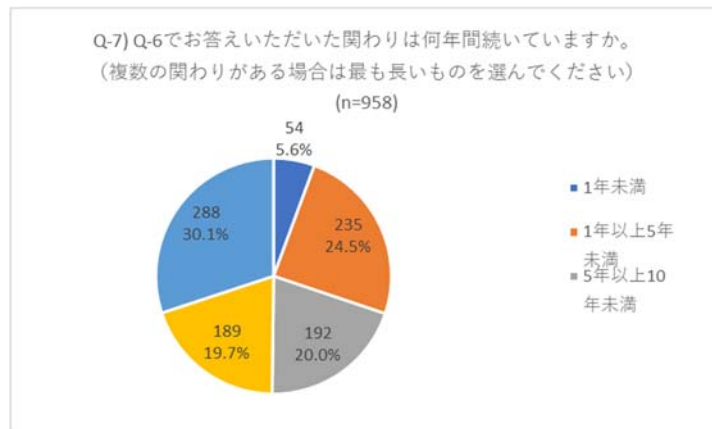
Q-6 Q-5でお答えいただいた「大山町・笹塚・西原・幡ヶ谷・初台・本町・その他」の地域にどのような関わりがありますか（複数回答可）

回答者の8割が居住者である。2割程度が「よく訪れる地域」という回答者であった。



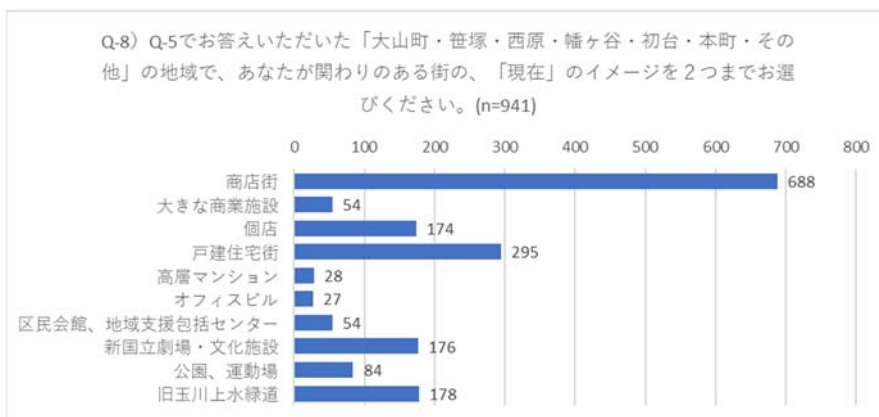
Q-7 Q-6でお答えいただいた関わりは何年間続いていますか。（複数の関わりがある場合は最も長いものを選んでください）

20年以上の関わりがある回答者が約30%、1年以上5年未満が約25%であった。

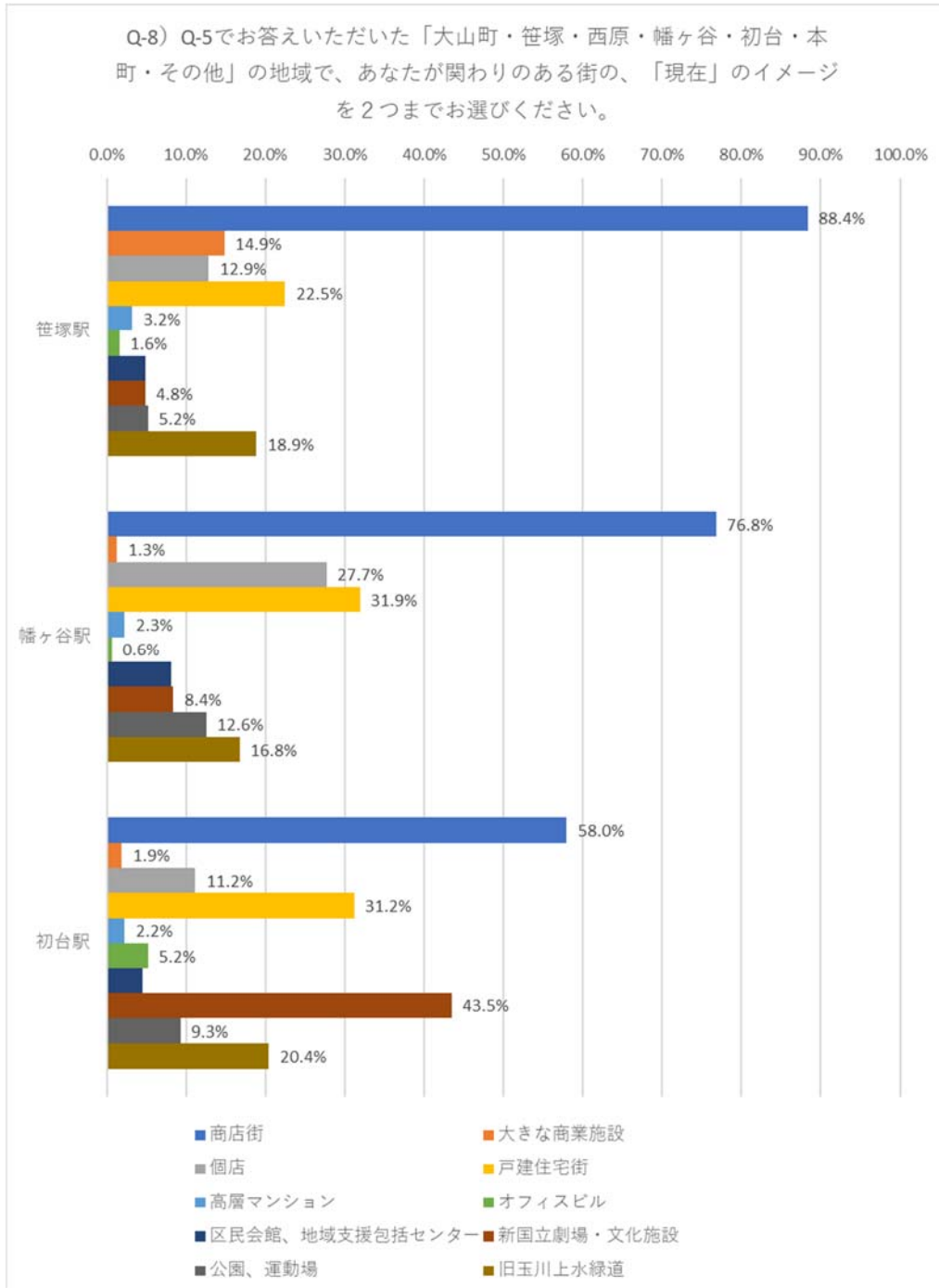


Q-8 Q-5でお答えいただいた「大山町・笹塚・西原・幡ヶ谷・初台・本町・その他」の地域で、あなたが関わりのある街の、「現在」のイメージを2つまでお選びください。

約7割の回答者が「商店街」のイメージをもっており、最も高い。次いで約3割の方が「戸建住宅街」のイメージをもっている。その他、約2割の方が、個店、新国立劇場・文化施設、公園、運動場、旧玉川上水緑道のイメージをもっていた。



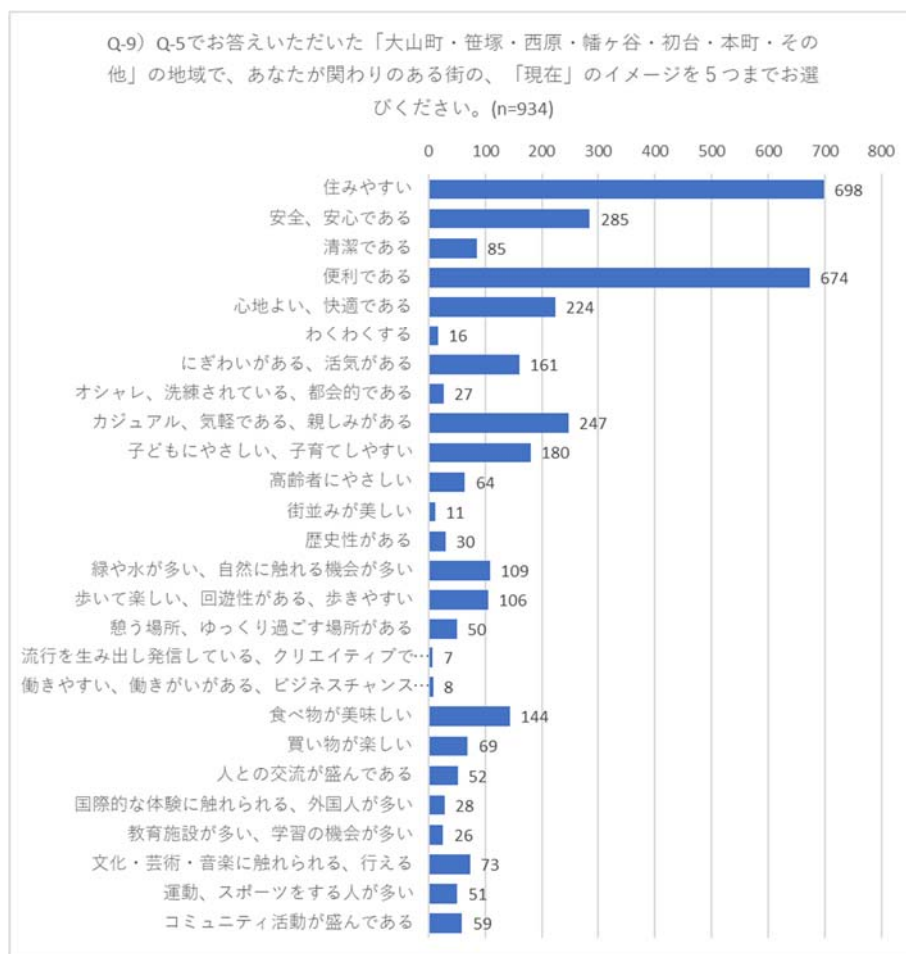
笹塚駅、幡ヶ谷駅、初台駅をよく利用する駅として挙げた回答者ごとに「現在」のイメージを整理した。各駅で「商店街」および「戸建住宅街」が多い。笹塚駅では、他の2駅と比較して「大きな商業施設」のイメージが多く、幡ヶ谷駅では「個店」、初台駅では「新国立劇場・文化施設」が多いのが特徴的である。



Q-9 Q-5でお答えいただいた「大山町・笹塚・西原・幡ヶ谷・初台・本町・その他」の地域で、あなたが関わりのある街の、「現在」のイメージを5つまでお選びください。

現在のイメージの上位5項目は、①住みやすい、②便利である、③安全・安心である、④カジュアル、気軽である、親しみがある、⑤心地よい、快適であるであった。

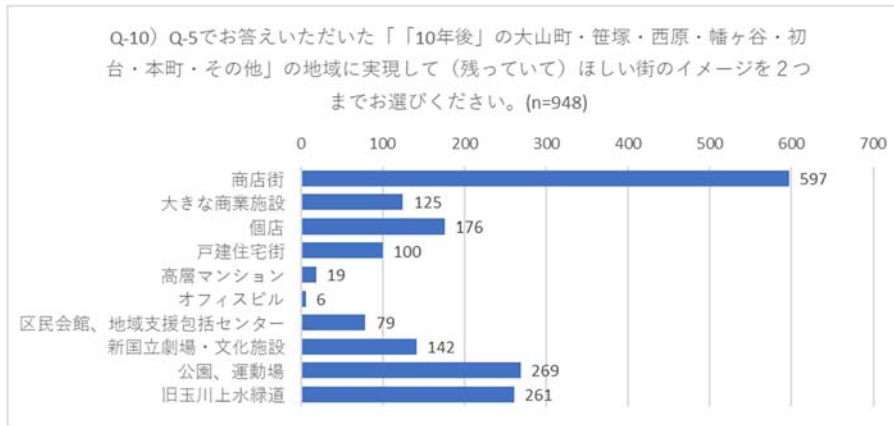
①住みやすい、②便利であるというイメージについては7割を超える回答者がイメージとして持っている。



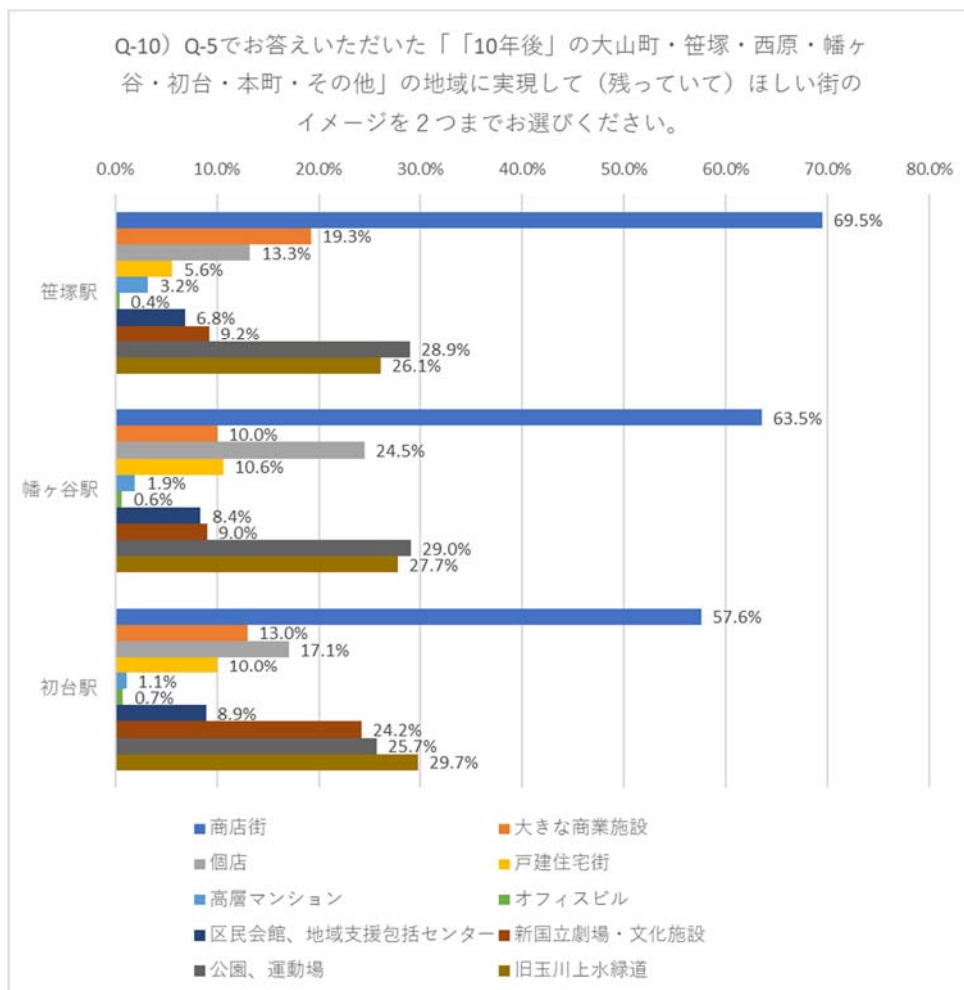
笹塚駅、幡ヶ谷駅、初台駅をよく利用する駅として挙げた回答者ごとに「現在」のイメージをみると、「住みやすい」、「便利である」というイメージが最も多く同様のイメージをもっているようである。幡ヶ谷駅利用者としては、加えて「食べ物がおいしい」というイメージが比較的多い。また、初台駅利用者は「子どもにやさしい、子育てしやすい」、「文化・芸術音楽に触れられる・行える」が他の駅に比べて比較的上位に挙げた。

Q-10 Q-5でお答えいただいた「「10年後」の大山町・笹塚・西原・幡ヶ谷・初台・本町・その他」の地域に実現して（残っていて）ほしい街のイメージを2つまでお選びください。

約6割の回答者が、「商店街」が実現・残ってほしい街のイメージとして回答している。次いで、約3割の回答者が「公園、運動場」、「旧玉川上水緑道」を挙げた。

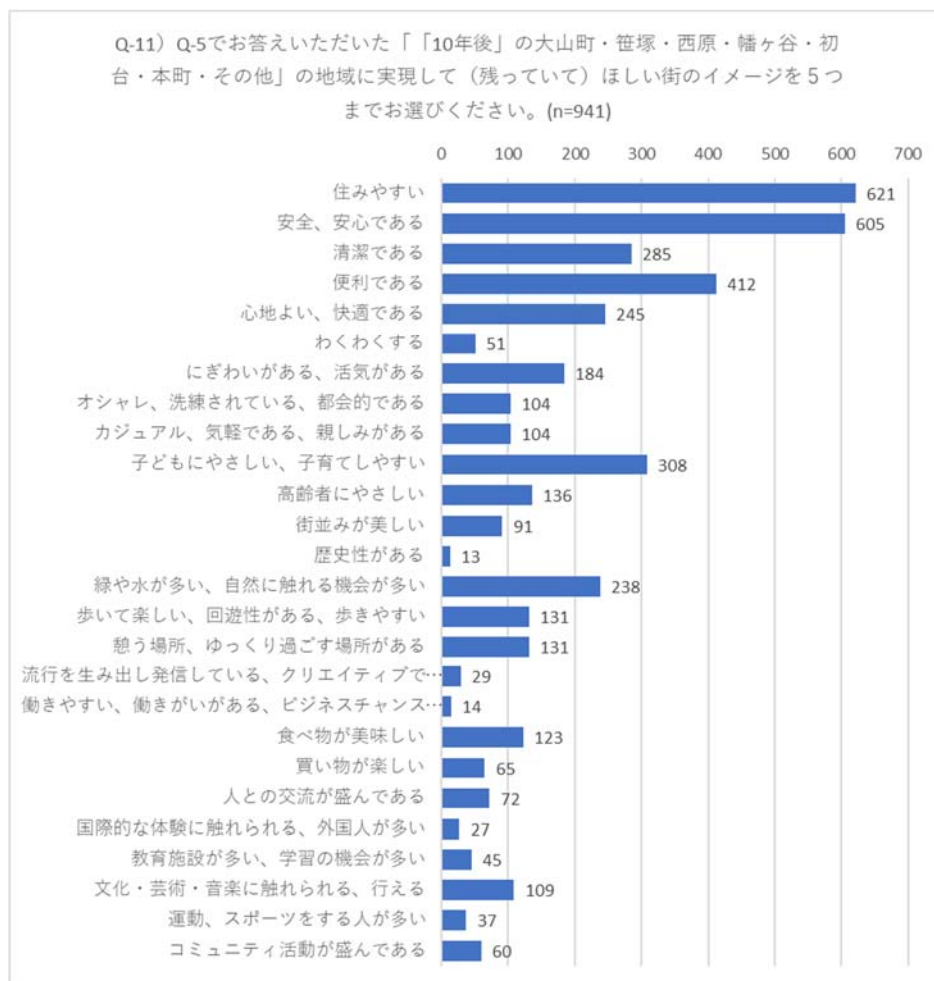


笹塚駅、幡ヶ谷駅、初台駅をよく利用する駅として挙げた回答者ごとに「10年後」のイメージを整理すると、「商店街」の他には、笹塚駅では、他の2駅と比較して「大きな商業施設」が多く、幡ヶ谷駅では「個店」、初台駅では「新国立劇場・文化施設」が多いのが特徴的であった。



Q-11 Q-5 でお答えいただいた「10年後」の大山町・笹塚・西原・幡ヶ谷・初台・本町・その他」の地域に実現して（残っていて）ほしい街のイメージを5つまでお選びください。

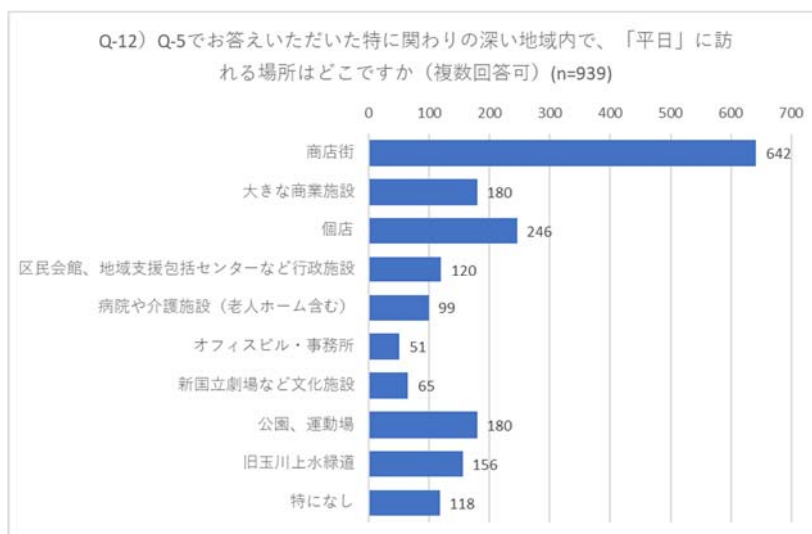
回答者の60%以上が「住みやすい」、「安全・安心である」という選択肢を実現・残っていてほしいイメージとして回答した。また、「便利である」、「清潔である」、「子どもに優しい・子育てしやすい」、「緑や水が多い、自然に触れる機会が多い」についても20%以上が将来のイメージとして回答した。



笹塚駅、幡ヶ谷駅、初台駅をよく利用する駅として挙げた回答者ごとに「10年後」のイメージをみると、「安全・安心」、「住みやすい」、「便利である」というイメージが最も多く同様のイメージをもっている。初台駅は、「子どもにやさしい、子育てしやすい」が他の駅に比べて比較的上位に挙げた。

Q-12 Q-5 でお答えいただいた特に関わりの深い地域内で、「平日」に訪れる場所はどこですか（複数回答可）

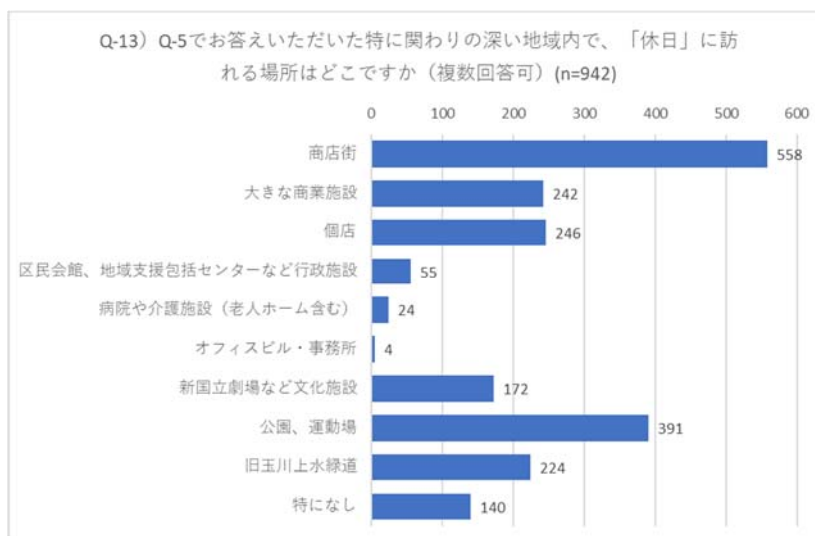
回答者の約7割が平日に「商店街」に訪れるとしている。次いで、個店が多い。



笹塚駅、幡ヶ谷駅、初台駅をよく利用する駅として挙げた回答者ごとに「平日」に訪れる場所をみると、笹塚駅では「大きな商業施設」、幡ヶ谷駅では「個店」、初台駅では「公園・運動場」、「旧玉川上水緑道」が比較的上位にあがった。

Q-13 Q-5 でお答えいただいた特に関わりの深い地域内で、「休日」に訪れる場所はどこですか（複数回答可）

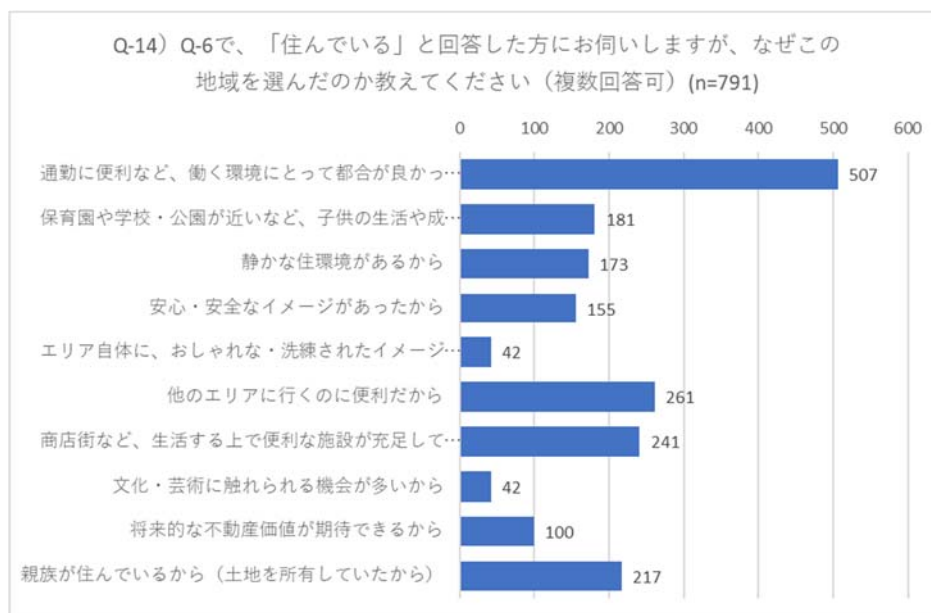
回答者の約6割が「商店街」と回答した。また、次いで、「公園、運動場」が約4割であり、「個店」「大きな商業施設」「旧玉川上水緑道」が約2割であった。



笹塚駅、幡ヶ谷駅、初台駅をよく利用する駅として挙げた回答者ごとに「休日」に訪れる場所をみると、笹塚駅では「大きな商業施設」、幡ヶ谷駅では「個店」、初台駅では「公園・運動場」、「新国立劇場・文化施設」、「旧玉川上水緑道」が比較的上位にあがった。

Q-14 Q-6 で、「住んでいる」と回答した方にお伺いしますが、なぜこの地域を選んだのか教えてください（複数回答可）

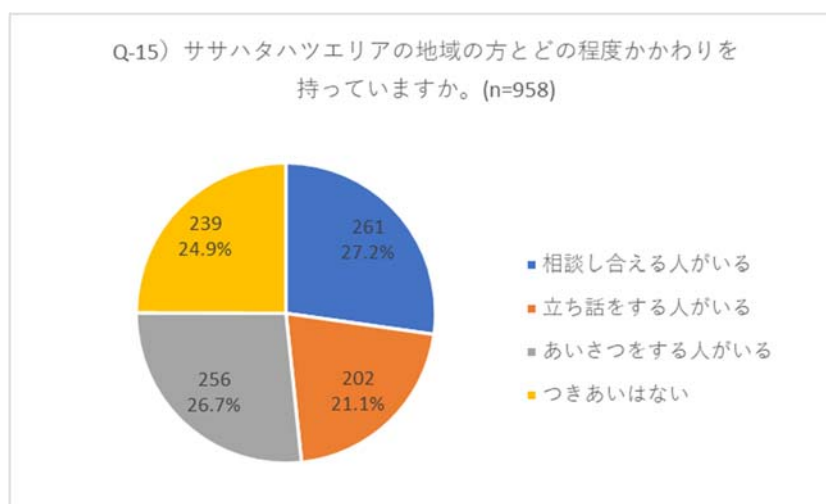
回答者のうち、住んでいる理由としては、約 6 割が「通勤に便利など、働く環境によって都合が良かったから」が最も多い。次いで「他のエリアに行くのに便利だから」「商店街など、生活する上で便利な施設が充足しているから」が約 3 割だった。



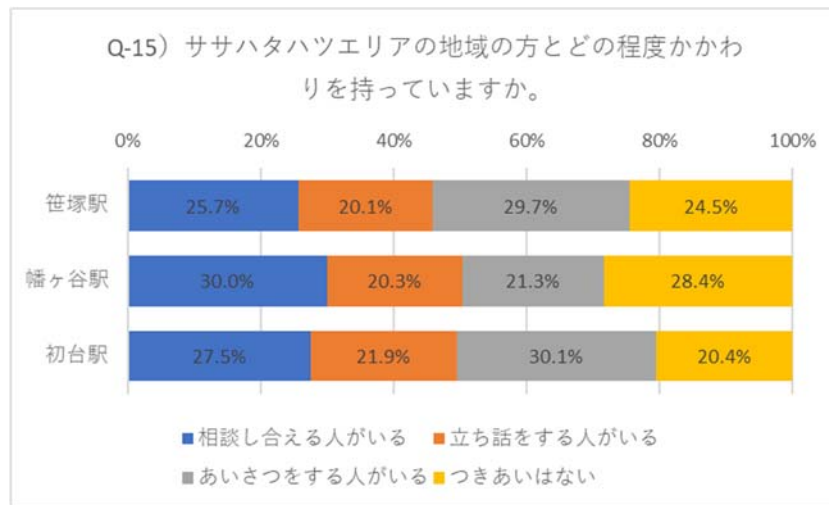
笹塚駅、幡ヶ谷駅、初台駅をよく利用する駅として挙げた回答者ごとに住んでいる理由をみると概ね駅による違いは見られないが、笹塚駅では、「親族が住んでいるから」、幡ヶ谷駅では「安心・安全なイメージがあるから」、初台駅では「保育園・学校・公園など子供の生活や成長に都合が良かったから」が比較的高い。

Q-15 ササハタハツエリアの地域の方との程度かかわりを持っていますか。

地域のかかわりとしては、「相談し合える人がいる」が最も高いものの、「立ち話をする人がいる」、「あいさつをする人がいる」、「つきあいはない」という回答がほぼ同程度である。

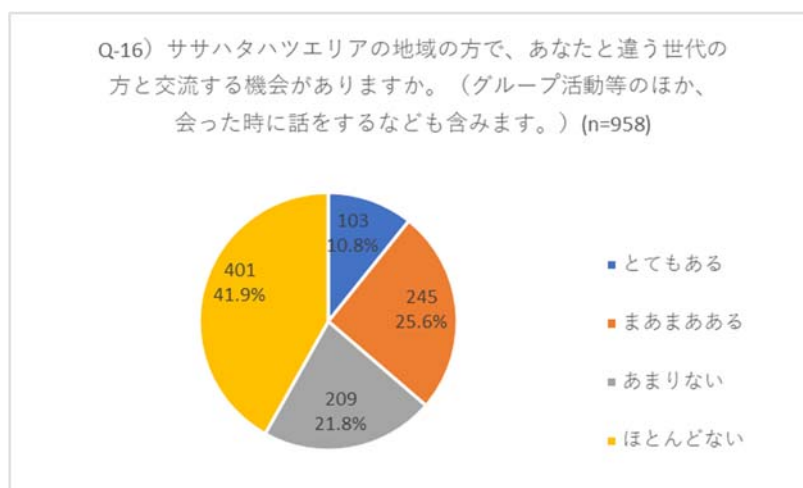


笹塚駅、幡ヶ谷駅、初台駅をよく利用する駅として挙げた回答者ごとに地域の方との関わりをみると、幡ヶ谷駅では「相談し合える人がいる」が比較的多いものの、「つきあいはない」とする回答者も多い。



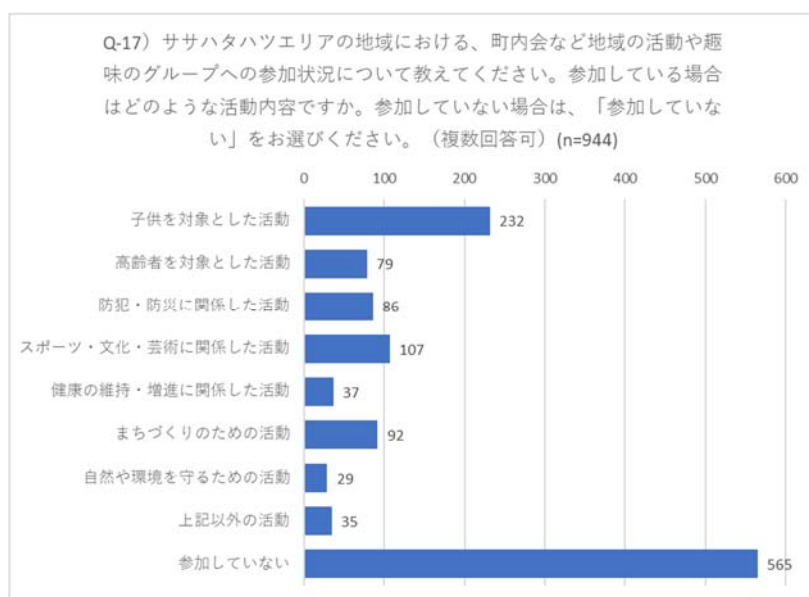
Q-16 ササハタハツエリアの地域の方で、あなたと違う世代の方と交流する機会がありますか。(グループ活動等のほか、会った時に話をするなども含みます。)

回答者の約4割が違う世代の方との関わりはほとんどなく、約2割の方が「まあまあある」、「あまりない」と回答した。笹塚駅、幡ヶ谷駅、初台駅別にみても同様の傾向がみられる。



Q-17 ササハタハツエリアの地域における、町内会など地域の活動や趣味のグループへの参加状況について教えてください。参加している場合はどのような活動内容ですか。参加していない場合は、「参加していない」をお選びください。（複数回答可）

回答者の約6割が「参加していない」と回答し、最も高い。次いで「子どもを対象とした活動」、「スポーツ・文化・芸術に関係した活動」である。笹塚駅、幡ヶ谷駅、初台駅別でも同様の傾向がみられる。



Q-18 その他、住みやすさ、働きやすさ、経済・社会活動のしやすさ、自然環境などの面で街がこうなってほしいということがあれば教えてください。（自由記述式）

アンケートの自由記述欄では、特に「個店・商店街」、「オープンスペース・公園」、「コミュニティ」、「治安」、「街並み・イメージ」に関する事項が多い印象であった。

「個店・商店街」については、多様な個店の維持や活性化、サポートの必要性等への意見があり注目度は高いようだ。一方でスーパーなど日常的な買い物する場所の不足という点も多い。

「オープンスペース・公園」については、箇所数の増加、維持管理への対応、多様な世代が過ごせる居場所の必要性が見られた。また、ベンチや飲食スペース（テーブル等）への要望もある。

「コミュニティ」については、実際に取り組みたいという声も複数あった。新旧住民のつながり、多様性への尊重、まちラボへの期待が見られた。

「治安」「街並み・イメージ」については、駅前や緑道等での治安への心配があり、清潔で安心できるまちへの希望があった。まちのイメージとしては、活気のあり、都会と下町がミックスしたようなイメージが複数見られた。電線地中化、高架下・緑道等への活用についても意見があった。主な意見を以下に示す。

- 【個店や商店街など】チェーン店でなく多様な個店の維持や活性化を求める、ペット・子連れも入れる飲食店の充実、出店やデジタル化などサポート面の充実、スーパーの充実
- 【オープンスペース・公園】箇所の増加と維持管理・清潔さへの対応、交流の場としての利用、ドッグラン、子どもの遊び場の充実、ベンチや飲食できるスペースの設置等。
- 【治安】治安が悪い、安心できるまちへ。歩きたばこ、ポイ捨て、騒音問題への対応
- 【コミュニティ】新旧住民のつながりの創出、既存町会との連携・適正化、多様性の尊重、まちラボのプラットフォームとしての役割に期待
- 【道路】歩行環境充実、自転車対策
- 【街並み・イメージ】清潔、活気のある、気軽、都会×下町ミックスなイメージ。電線地中化、高架下の活用、駅前のイメージアップ
- 【教育】大学等との連携、多様な世代が学べる場
- 【福祉】ホームレス保護、高齢者・子育て支援、誰も取り残さない、発展的な福祉、駅に電動車いすを保管する場所（駐輪場的に）、相談所（メンタルヘルス等）
- 【環境】取り組みの強化、SDGs への対策の必要性、水と緑の環境を保全。
- 【資源・文化】歴史景観資産を大切に、水道道路を元気に。
- 【玉川上水緑道】水の流れの創出、横断部分の立体化（歩行動線の連続性）、清掃への参加
- 【発信】芸術と音楽
- 【仕事】機能的なまちへ。コワーキングスペース、若者支援、金融教育、相談所（スタートアップ、キャリアコンサルティング等）
- 【防災】密集による火災への不安、備え、防災放送の改善等
- 【地域連携】南北連携、調和、北側のイメージアップ
- 【住まい】家賃安く、都営住宅の拡充など、子育て世代も住み続けられる街へ。
- 【交通】幡ヶ谷駅の改修

(3) アンケート結果の分析

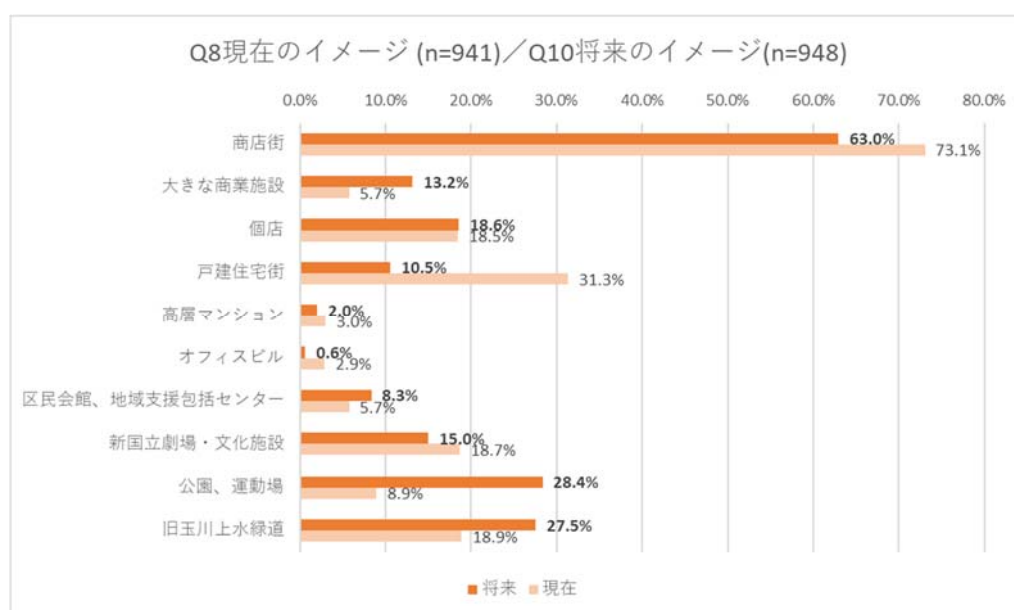
<ササハタハツエリアのイメージ（施設等）について>

約7割の回答者がササハタハツエリアに「商店街」のイメージをもっており、最も高く、現在の主要なイメージになっていると考えられる。

次いで約3割の回答者が「戸建住宅街」のイメージをもっていた。その他、約2割の回答者が、個店、新国立劇場・文化施設、旧玉川上水緑道のイメージをもっていた。

笹塚駅、幡ヶ谷駅、初台駅をよく利用する駅として挙げた回答者別に、現在のイメージ（施設等）を整理した。各駅でも「商店街」および「戸建住宅街」が多い傾向が見られた。笹塚駅では「大きな商業施設」、幡ヶ谷駅では「個店」、初台駅では「新国立劇場・文化施設」のイメージが他の駅より多いのが特徴であった。

また、現在のイメージと10年後のイメージについて比較すると、「商店街」が最も高く、さらに「公園・運動場」が約20%、「旧玉川上水緑道」「大きな商業施設」が約10%の上昇があり、これらに対して特に実現・残してほしいという傾向があることがわかった。

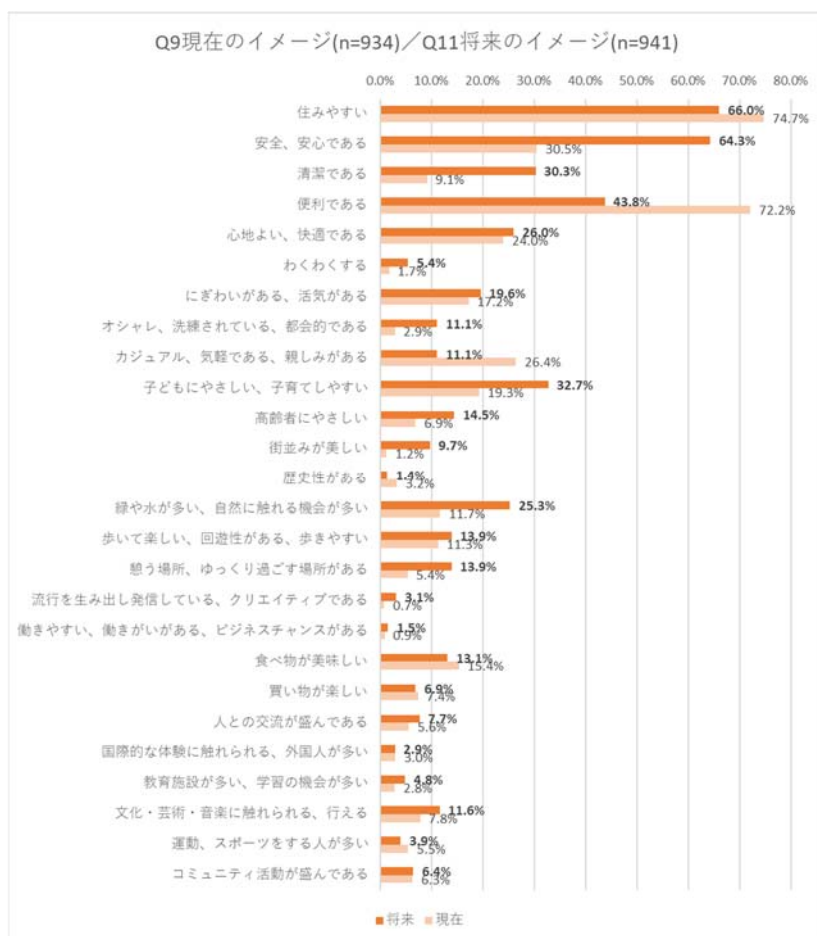


<ササハタハツエリアのイメージについて>

回答者の約70%以上が、現在のササハタハツエリアは「住みやすい」、「便利である」としており、次いで「安全・安心である」、「カジュアル、気軽である、親しみがある」、「心地よい、快適である」というイメージがあった。

特に、幡ヶ谷駅利用者は、上記に加えて「食べ物がおいしい」というイメージが比較的多い。また、初台駅利用者は「子どもにやさしい、子育てしやすい」、「文化・芸術音楽に触れられる・行える」が他の駅に比べて比較的上位に挙がっていた。

また、現在のイメージと10年後のイメージについて比較すると、「安全・安心」、「清潔である」、「緑や水が多い、自然に触れる機会が多い」、「子どもにやさしい、子育てしやすい」が10%以上の上昇があり、特に実現・残してほしいという傾向があることがわかった。



<平日・休日に訪れる場所>

平日は回答者の7割が、休日は6割が商店街を訪れると回答しており、商店街が主要な場所であることがわかった。また、休日は「公園・運動場」の割合が上昇した。初台駅では公園・運動場、新国立劇場・文化施設、旧玉川上水緑道が比較的上位に挙がった。

<住む理由>

「通勤に便利など、働く環境によって都合が良かったから」との回答が約6割と最も多い。次いで「他のエリアに行くのに便利だから」「商店街など、生活する上で便利な施設が充足しているから」が約3割だった。便利で、生活する上での施設の充実が魅力的であることがわかった。

<地域の方との関わり>

相談、立ち話、あいさつをするなど、何らかのかかわりがある方は75%を越えているものの、違う世代との関わる機会は「あまりない」「ほとんどない」とする回答者が60%を越えた。また、地域の活動へは「参加していない」回答者が6割を越え、最も多かった。「子どもを対象とした活動」が25%あった一方で、「自然や環境を守るための活動」、「健康の維持・増進に係る活動」が低い傾向があった。

3.2. 2021 年度 第 1 回アンケート（個人向け）

（1）調査の概要

2021 年度第 1 回のアンケートでは、ササハタハツエリアビジョン検討委員会で検討したテーマや取り組みを提示し、まちの現状の総合的な満足度、各テーマの満足度について、さらに、それ以外に必要なと思うものについてご意見を伺いました。

【期間】 2021 年 9 月 21 日～10 月 17 日

【方法】 Google form を利用したウェブ上での実施

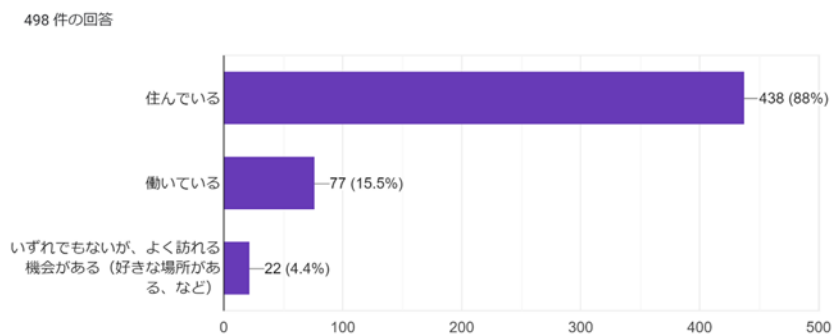
（地域の広場アプリ ピアッザユーザー、渋谷区 LINE ユーザー等）、
区施設などに設置したアンケート用紙での回答

【回収数】 498 件

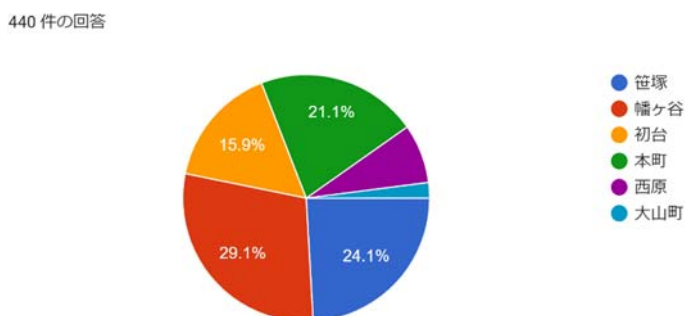
（2）設問と主な結果

Q-1 笹塚・幡ヶ谷・初台・本町・西原・大山町のエリアにどのような関わりがありますか
（複数回答可）

回答者の約 9 割が「住んでいる」と回答。

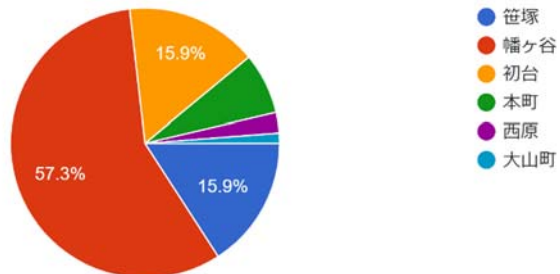


Q-2 Q1 で「住んでいる」とお答えされた方のみお伺いします。どのエリアに住んでいますか
幡ヶ谷が約 30%、笹塚が約 25%であり、本町、初台が続く。



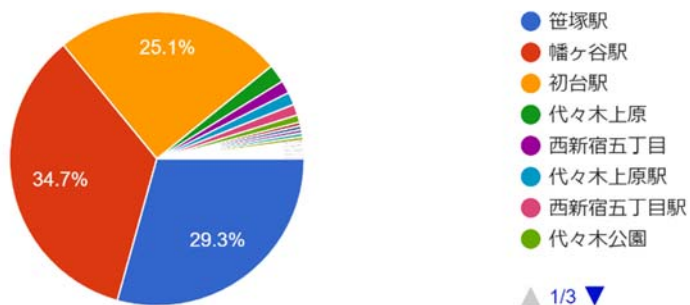
Q-3 Q1で「働いている」とお答えされた方のみお伺いします。どのエリアで働いていますか
回答者の約6割が幡ヶ谷と回答。

82件の回答



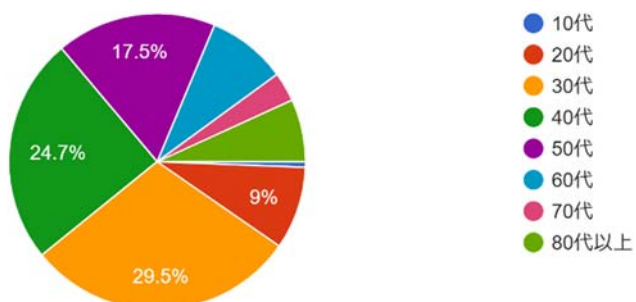
Q-4 最もよく利用する駅はどれですか
笹塚駅、幡ヶ谷駅、初台駅がそれぞれ約30%ずつを占めた。

498件の回答



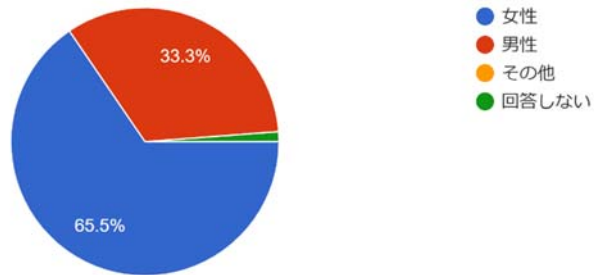
Q-5 あなたの年齢を教えてください
30代、40代で約半数を占め、次に50代、60代、20代が多い。

498件の回答



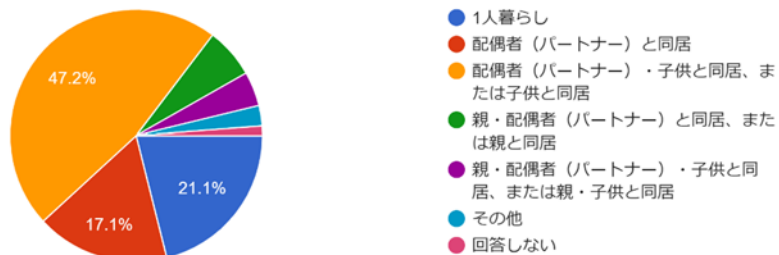
Q-6 あなたの性別を教えてください
 女性が約 65%とそのほかに比べて多い。

498 件の回答



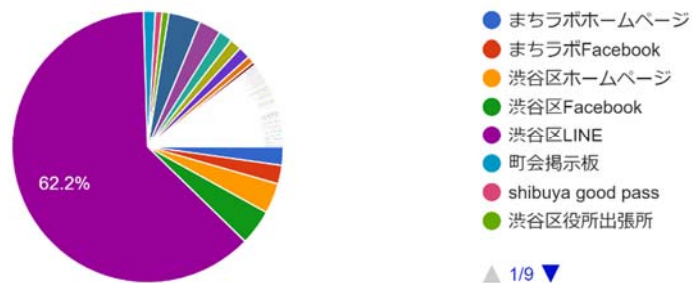
Q-7 あなたの家族構成を教えてください
 配偶者（パートナー）・子供と同居、または子供と同居が最も多く、半数を占めた。

498 件の回答

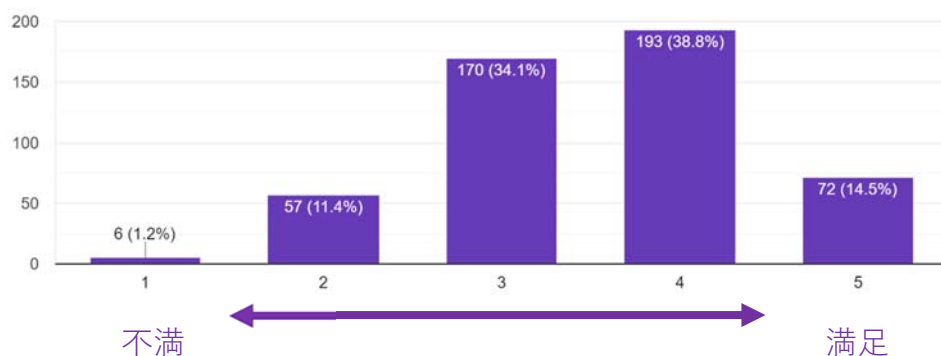


Q-8. 何を見てこのアンケートを知りましたか
 渋谷区 LINE が約 6 割と多くを占めた。

498 件の回答

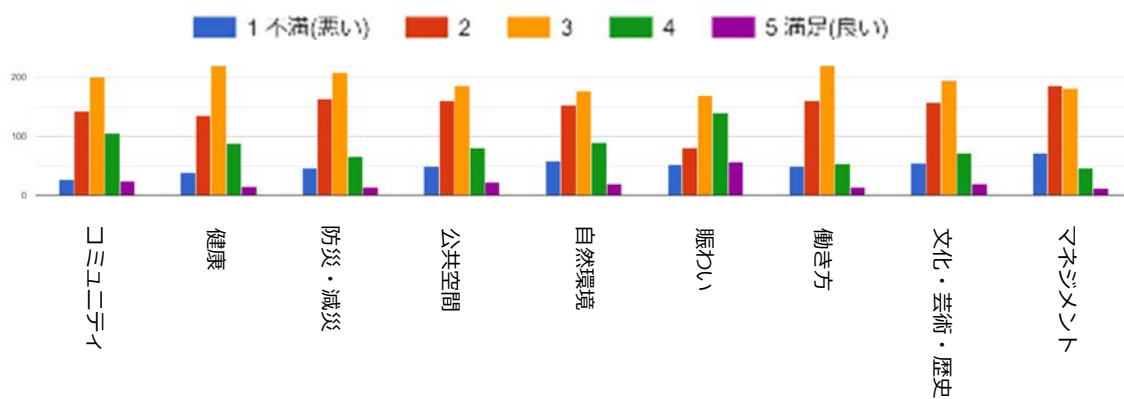


Q-9 ササハタハツエリアのまちの現状の総合的な満足度について、1つ選択してください
概ね満足(4)、普通 (3) が最も多い。



Q-10 ササハタハツエリアのまちの現状について、あなたの印象やお考えを教えてください。
各テーマごとの満足度について、それぞれ1つずつ選択してください。

概ねどのテーマも普通 (3) が多いが、マネジメントは少し不満 (2) が最も多い。



Q-9とQ-10の結果をもとに、CSポートフォリオ分析を行った。CS分析とは、総合満足度（Q-9）と項目別の満足度（Q-10）から改善すべき項目や維持すべき強みである項目を抽出する分析手法です。これによると、「賑わい」「コミュニティ」「自然環境」は維持すべき強みである傾向が高く、特に「マネジメント」が重点的に改善すべき項目であることがわかりました。



Q-11 Q-9に掲げられたテーマ以外に、必要だと思うものはありますか？（自由記述）

主に以下のような意見があった。（回答 144 件）

- ・人と人とのつながり、世代を越えたつながり、助け合い、コミュニティ
- ・子育てや介護の地域支援
- ・治安：夜間などの防犯、モラルの向上
- ・交通・自転車：マナーの問題、自転車など環境に配慮した移動手段の促進
- ・まちのイメージづくり、地域ブランド、情報発信
- ・近隣地域との連携・協働
- ・景観：美化、街並みの向上、総合的なビジョン
- ・インクルーシブな視点：子供、若者、高齢者、外国の方、障がい者、ペットなどの環境、支援の重要性
- ・子供の居場所、中高生の居場所・趣味などの活動の場所、教育環境
- ・子供を遊ばせやすい公園、緑の充実
- ・都営住宅、水道道路の改善
- ・商店街、個人商店の活性化、取扱品のバリエーション
- ・デジタル技術の活用、IT化

Q-12 ササハタハツエリアで、Q-9 や Q-11 のテーマに関して、既に行なっている取り組みがあれば、記入してください。(自由記述)

主に以下のような意見があった。(回答 61 件)

- ・ ガーデンづくり、菜園づくり、公共花壇の整備、緑道で自主管理花壇の運営管理、緑道部会などの緑に関する活動
- ・ 貸家、まちでの生活シーンにおけるバリアフリーデザイン
- ・ 高齢者へのスマートフォン相談、独居老人の暮らしのお手伝い、ボランティア活動
- ・ なるべく商店街のお店、個人商店を利用する
- ・ 渋谷 Local Street Project への出店
- ・ 近隣住民との挨拶、交流
- ・ まちの歴史、記憶を次世代につなげる活動
- ・ 町会や祭りへの参加

3.3. 2021 年度 第 1 回アンケート（企業向け）

（1）調査の概要

2021 年度第 1 回のアンケート・企業向けでは、ササハタハツエリアビジョン検討委員会で検討したテーマや取り組みを提示し、まちの現状の総合的な満足度、各テーマの満足度について、さらに、

具体的に今後取り組みたいこと、アイデアについてご意見を伺いました。

【期間】 2021 年 9 月 21 日～10 月 17 日

【対象者】 企業、行政関連機関

【方法】 Google form を利用したウェブ上での実施

（地域の広場アプリ ピアッツァユーザー、渋谷区 LINE ユーザー等）、

区施設などに設置したアンケート用紙での回答

【回収数】 19 件

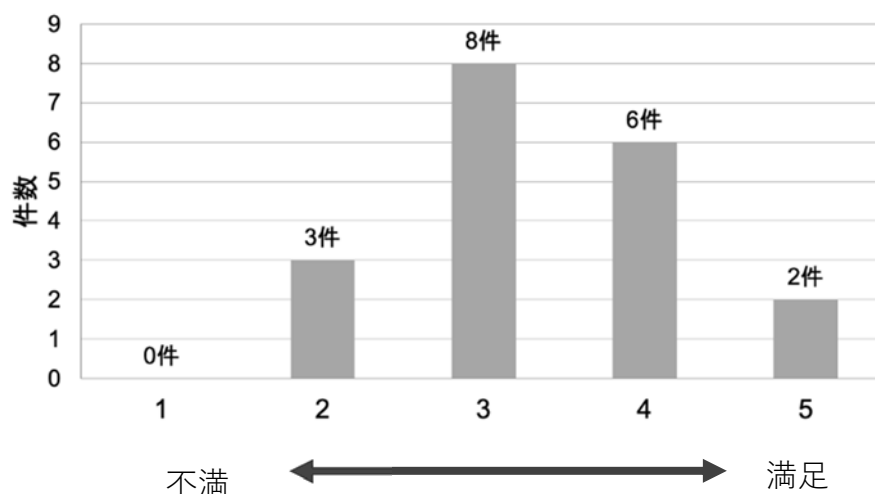
（2）設問と主な結果

Q-3 事業所のあるエリア、最寄りの駅

笹塚駅 5 件、 幡ヶ谷 2 件、 初台 12 件。

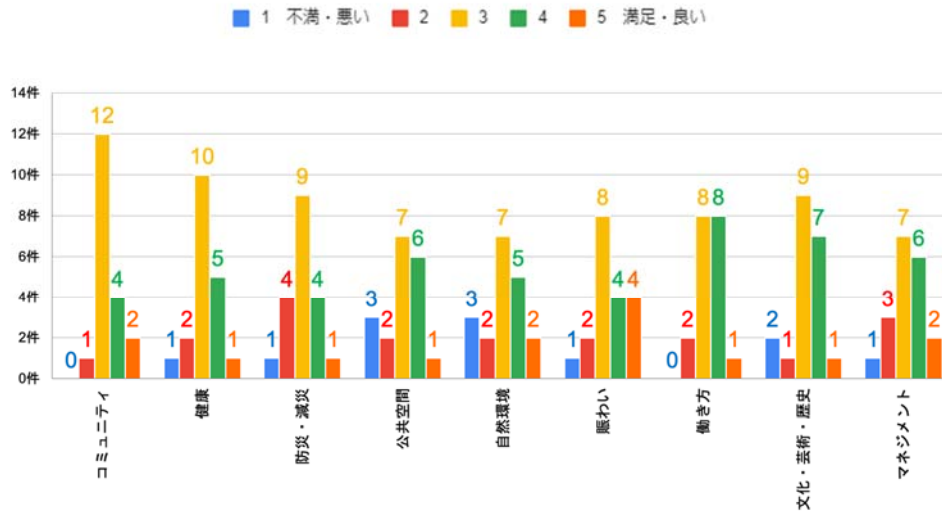
Q-6 ササハタハツエリアのまちの現状の総合的な満足度について、1つ選択してください

3（普通）が 8 件と、最も多い結果となりました。

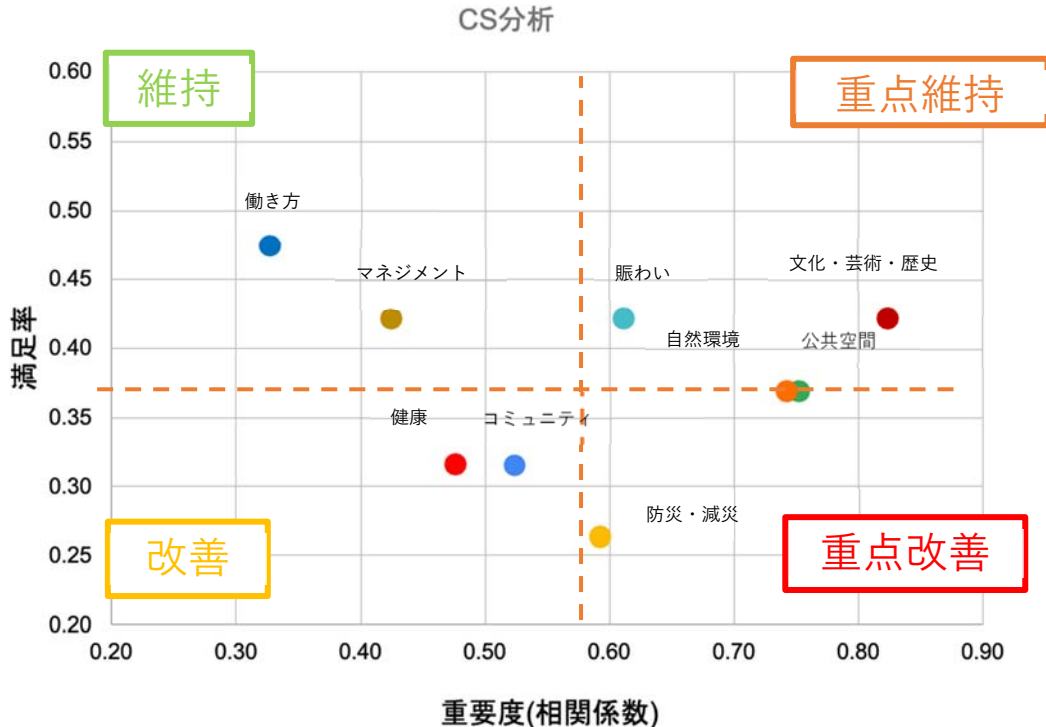


Q-7 ササハタハツエリアのまちの現状について、あなたの印象やお考えを教えてください。各テーマごとの満足度について、それぞれ1つずつ選択してください。

ほとんどのテーマで3（普通）、4（良い）が多い結果となりました。



総合満足度と項目別の満足度から、改善すべき項目や維持すべき強みである項目を抽出する分析手法（CSポートフォリオ分析）を行いました。これによると、「文化・芸術・歴史」「賑わい」は維持すべき強みである傾向が高く、加えて「自然環境」「公共空間」が維持・改善どちらにおいても重点項目であることがわかりました。



Q-8 ササハタハツエリアの地域に対して、既に行なっている取り組みがあれば、記入してください（自由記述）

・玉川上水復活に関する学習会や、お客様とのコミュニケーション・会話、ワークショップ、マルシェの実施、防災備蓄の充実を行っているという回答がありました。

Q-9 ササハタハツエリアで、具体的に今後取り組みたいこと、アイデアがあれば教えてください（自由記述）

・近隣大学との協力、SDG s の推進、事業系生ごみの肥料・堆肥化、栽培・加工・販売を一貫して手掛けるモデルケース、植樹、新たなモビリティの整備、憩いの場づくり、災害時の避難者受け入れ、住宅関連のスタートアップなどの回答がありました。

Q-10 掲げられたテーマに関連せずとも、ササハタハツエリアの地域に対して、既に行なっている取り組みがあれば、記入してください（自由記述）

・ウォーキングイベントの定期開催などの回答がありました。

Q-11 掲げられたテーマに関連せずとも、ササハタハツエリアで、具体的に今後取り組みたいこと、アイデアがあれば教えてください（自由記述）

・近隣大学との協力、自然との共生の学び、大地震等の大災害発生時の共助体制、電源確保や災害用トイレの設置、エリア内での地産地消、事業ゴミを利用した堆肥づくり、ふるさと納税の返礼品、スタートアップがオフィスを構えやすい街、などの回答がありました。

3.4. 2021 年度 第 2 回アンケート

(1) 調査の概要

2021 年度第 2 回のアンケートでは、ササハタハツエリアビジョン検討委員会で検討したビジョン案を提示し、ビジョンに対する共感度や、一緒にやりたいこと・できると思ったこと、さらに、意見や感想についてご意見を伺いました。

【期間】 2022 年 1 月 31 日～2 月 13 日

【方法】 Google form を利用したウェブ上での実施

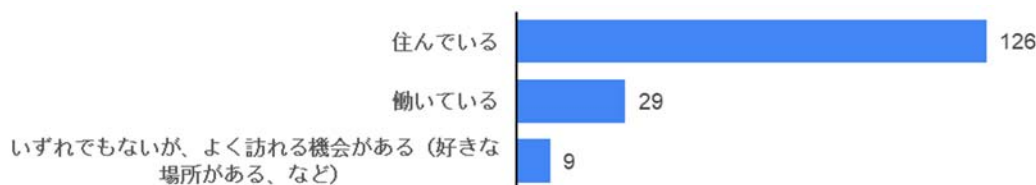
(地域の広場アプリ ピアッザユーザー、渋谷区 LINE ユーザー等)、
区施設などに設置したアンケート用紙での回答

【回収数】 152 件

(2) 設問と主な結果

Q-1 笹塚・幡ヶ谷・初台・本町・西原・大山町のエリアにどのような関わりがありますか
(複数回答可)

住んでいる方が 126 件と、最も多い。



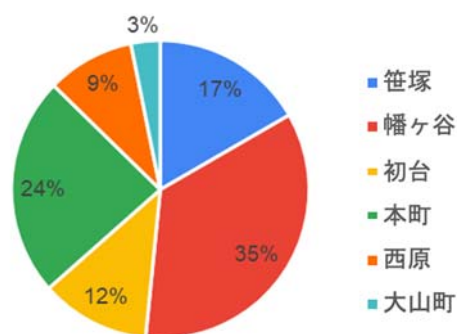
(件数)

Q-2 Q-1 で「住んでいる」とお答えされた方のみお伺いします。

どのエリアに住んでいますか

幡ヶ谷に住んでいる方が最も多く、次いで本町、笹塚、初台と続く。

	件数	割合
笹塚	21	16.7%
幡ヶ谷	44	34.9%
初台	15	11.9%
本町	30	23.8%
西原	12	9.5%
大山町	4	3.2%
総計	126	100.0%

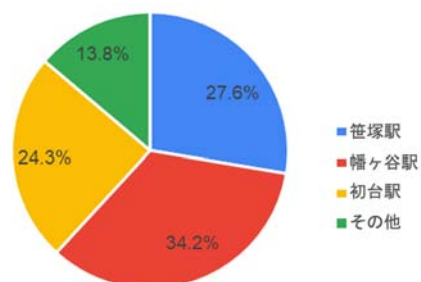


Q-3 Q-1で「働いている」とお答えされた方のみお伺いします。どのエリアで働いていますか
 幡ヶ谷で働いている方が最も多い。

	件数	割合
笹塚	3	10.3%
幡ヶ谷	10	34.5%
初台	1	3.4%
本町	1	3.4%
回答なし	14	48.3%
合計	29	100.0%

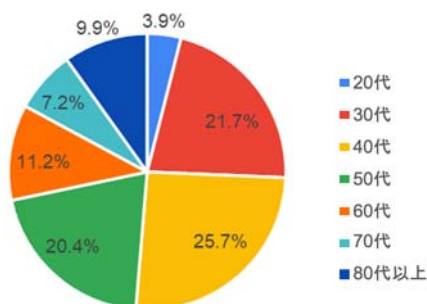
Q-4 最もよく利用する駅はどれですか？
 幡ヶ谷駅、笹塚駅、初台駅の方が多い。

	件数	割合
笹塚駅	42	27.6%
幡ヶ谷駅	52	34.2%
初台駅	37	24.3%
その他	21	13.8%
合計	152	100.0%



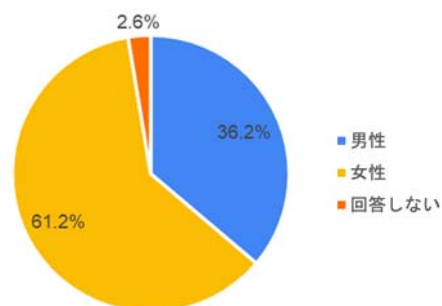
Q-5 あなたの年齢を教えてください
 40代が最も多く、次いで30代、50代の方が多。

	件数	割合
20代	6	3.9%
30代	33	21.7%
40代	39	25.7%
50代	31	20.4%
60代	17	11.2%
70代	11	7.2%
80代以上	15	9.9%
合計	152	100.0%



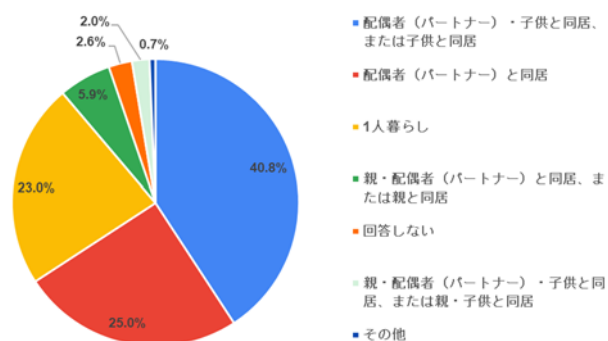
Q-6 あなたの性別を教えてください
 女性が約 61%とそのほかに比べて多い。

	件数	割合
男性	55	36.2%
女性	93	61.2%
回答しない	4	2.6%
合計	152	100.0%



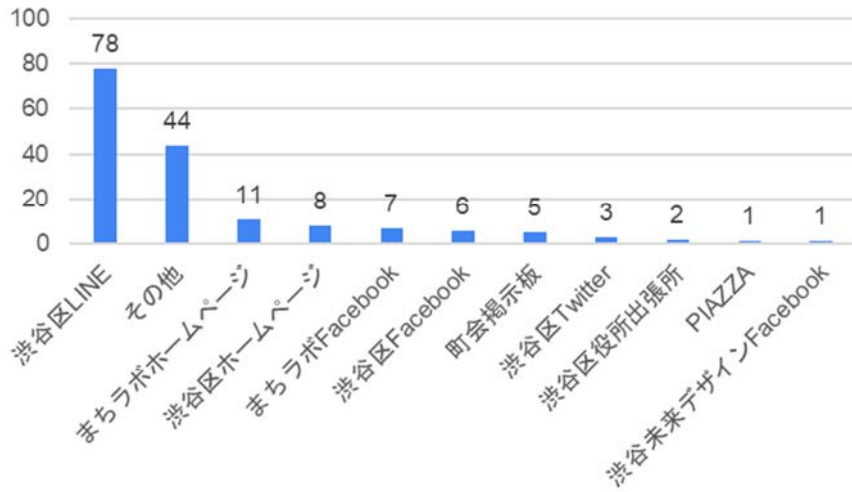
Q-7 あなたの家族構成を教えてください
 「配偶者（パートナー）・子供と同居、または子供と同居」が約 4 割とそのほかに比べて多い。

	件数	割合
配偶者（パートナー）・子供と同居、または子供と同居	62	40.8%
配偶者（パートナー）と同居	38	25.0%
1人暮らし	35	23.0%
親・配偶者（パートナー）と同居、または親と同居	9	5.9%
回答しない	4	2.6%
親・配偶者（パートナー）・子供と同居、または親・子供と同居	3	2.0%
その他	1	0.7%
合計	152	100.0%



Q-8 何を見てこのアンケートを知りましたか（複数回答可）

渋谷区LINE で知ったという方が多い。

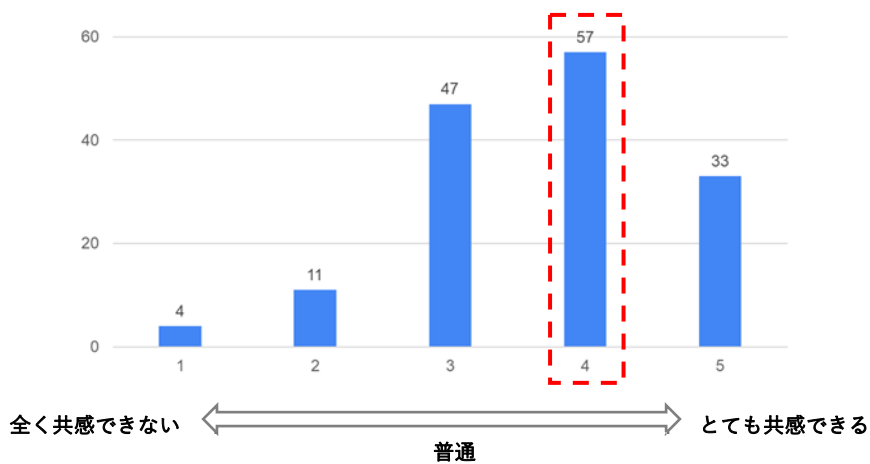


(件数)

Q-9 このビジョンを読んでどれくらい共感できましたか。共感度に応じて1つ選択してください。

④概ね共感できると回答した方が最も多く、次いで③普通、⑤とても共感できるが多い。

【①全く共感できない・②やや共感できない・③普通・④概ね共感できる・⑤とても共感できる】



(件数)

Q-10 Q-9 で1または2を選択した方はその理由を教えてください。(自由記述)

主に以下のような意見がありました。(回答 11 件)

- ・具体的なアイデアや構想、具体的施策が不足している。
- ・「活性化」という言葉は住民の為とは感じられない。
- ・わかりやすい表現にしてほしい。
- ・生活者の視点、市民の希望が十分反映されていない。
- ・ファーム（緑道）の必要性。
- ・手入れ、美化の充実。

Q-11 このビジョンには市民が取り組んでいる活動が掲載されています。このビジョンをご覧になって、あなたも一緒にやりたいことや、できると思ったことがあれば教えてください。(自由記述)

主に以下のような意見がありました。(回答 64 件)

<やりたいこと、できること>

- ・ SNS 等を通じた情報発信
- ・ 地域のコミュニケーションの場 ワークショップ、イベントへの参加
- ・ 意見出し、アイデア提案
- ・ 公園、駅前、トイレ等の掃除、美化（現在やっている、継続、始めたい）

<場・居場所づくりについて>

- ・ 子どもが安心して遊べる環境づくり、子ども、子育て世代への取り組み
- ・ 高齢者の場づくり
- ・ 多様な世代、人々が繋がれる、集える居場所づくり
- ・ 認知症の方々が安心して住み続けられるまち、地域の方が一緒に何かできる取り組み
- ・ 障がいの分野の理解

<FARM について>

- ・ 緑道での農業体験、土に触れる機会
- ・ パブリックスペースの活用
- ・ 自然環境保全への取り組み、生ごみの堆肥・肥料化
- ・ ストレスフリーな場づくり
- ・ 区主催の運動講座の屋外での練習場、太極拳などの練習の場

<テーマ4：賑わいについて>

- ・ 商店街の賑わいへの貢献、商店街の積極的な利用、個人商店、期間限定イベントの誘致

<テーマ6：文化・芸術・歴史について>

- ・ デジタル化×渋谷区活性化
- ・ アートなどの文化や創造を支えるプロジェクト、音楽演奏

<テーマ8：治安・防災について>

- ・ 防災や安全への取り組み

<その他>

- ・ 行政機関、大学機関、玉川上水流域の活動団体との連携、企業の参加
- ・ 現状の良さを大事にしてほしい。
- ・ 一部の人で勝手に行われぬように。

Q-12 このビジョンをご覧になった感想や意見を聞かせてください。(たとえばテーマ・取組みに関する意見、推進体制・ロードマップに関する意見など) (自由記述)

主に以下のような意見がありました。(回答 86 件)

<ビジョン全体について>

- ・ よくまとまっている、キャッチコピーが良い、共感する。
- ・ 資料がわかりづらいので、視覚的に端的にしてほしい。
- ・ 何年後を実現時期とするのか？最終形態がわからない。
- ・ 渋谷区キャッチコピーとの関係性など、行政計画との連携が必要
- ・ 既存の町会や自主防災組織、まちづくり協議会など既存団体が目指していることや存在を無視せず、包含してほしい。
- ・ 目に見えるアクション、実効性がほしい
- ・ テーマ、取り組みが細かすぎて理解が大変
- ・ 街のブランディング、エッジの立った取り組みが必要
- ・ 活動の周知の仕方に改善がほしい
- ・ 人のちからがなければできない取り組みだと改めて感じた
- ・ 地域のつながり、顔なじみ、市民中心のコミュニティの形成が必要
- ・ HP やビジョンに写真がほしい

<対象範囲について>

- ・ 全体で考えることと、地域で検討することが必要
- ・ 初台は歴史的には代々木3~5丁目の方に親和性が強い 「ハツ」にここも含めては？

<体制について>

- ・ 行動を起こす際にどこに相談・連携すればよいか具体的に示してほしい。
- ・ アカデミックとの連携、多様な方々を入れた組織づくり
- ・ 企業を入れて収益をあげさせることを考えてほしい。
- ・ ビジョンを理解できない、関心のない方の声を聞いていく工夫を望みたい。
- ・ 多くの職種が関わってもらえるようにしたほうがよい
- ・ インクルーシブが体制の中でどう実現されるのか。
- ・ 誰がやるのか？渋谷区はどこまでやるのか？が不明
- ・ 気軽に参加、意見できると良い
- ・ アンケートは商店や保育園など様々な場所に置いていろんな声を聞いてほしい

<防災・治安について>

- ・ 災害リスクへ立ち向かうべき (住宅密集など)
- ・ 密集住宅地などのある本町についての記述が少ない

- ・ 近隣対策、防犯対策はしっかりしてほしい
- ・ 交通の安全確保
- ・ 安全な遊歩道

<オープンスペース・公共施設>

- ・ 具体的に利用できる場所をつくってほしい（既存施設の集会所などを利用しやすく）
- ・ 公共施設の老朽化・機能の確保が必要
- ・ P.14 パブリックスペースの活用されていない公園にあげられている公園は日中、夕方に利用が見られる。
- ・ 「まちの機能・施設を新設する余白がない」と分析があるが対策がない
- ・ 都営住宅老朽化についての対策を。
- ・ 鉄道会社との連携が必要。ホームドアの導入、路線バスや駅のリニューアル
- ・ 個性的な公園がほしい。
- ・ 多様なジャンルが演奏できるスペース、イベントがあったら良い
- ・ ホームレスの居場所、駆け込めるところ
- ・ ローカルな文化施設（図書館など）も充実をさせてほしい。
- ・ ビジョンに利用する玉川上水旧水路緑道のイメージ画像の精査が必要。
- ・ ビジョンにおいて公開空地や新国立劇場横歩道を公共施設とするのは良いが、説明書きがあるとよい。

<FARM について>

- ・ FARM は一部が使うのではなくオープンな場に。
- ・ FARM だけでなく、エリア全体へ広く目を向けたい。
- ・ 緑道は避難通路、避難場所として保持してほしい

<その他>

- ・ 孤独な高齢者、地域の高齢者を取り残さないようにフォローを。
- ・ インキュベーションのまちとしての活性化は良い。
- ・ ササハタハツにおけるデジタル化を具体的に教えてほしい
- ・ プラ容器削減、分別・回収を進めたい。
- ・ 医療機関が少ない。
- ・ 夏祭りなど同日開催のスタンプラリーなど3つのエリアを回れるイベントはどうか。
- ・ ササハタハツは言いにくい。

4. ササハタハツエリアビジョン検討委員会

4.1. 検討委員会について

「ササハタハツエリアビジョン」策定にあたり公募委員を募集のうえ、検討委員会を実施しました。エリアに在住の方、在勤の方、当エリアでまちづくり活動を行っている方から公募したところ、36名の方にご応募いただき、応募いただいた中から選出した委員9名の方々と学識経験者1名の委員構成で検討委員会を設立しました。2021年度には計4回の委員会を開催し、エリアビジョンの内容について検討を行いました。

■ササハタハツまちラボ検討委員会 名簿（敬称略）

氏名	関わりのあるエリア	職業
泉山 壘威	ササハタハツエリア	日本大学助教・ 専門家
飯田 雅春	初台	ベーシスト・音楽家
梅岡 恒治	初台	建築設計事務所主宰
木田 恵子	初台	会社員
高 欽	幡ヶ谷	会社員
近藤 翔平	笹塚	会社員
財津 宜史	笹塚、幡ヶ谷	会社経営
田口 紀子	笹塚、幡ヶ谷、初台、本町	会社員
積田 綾子	幡ヶ谷、本町、初台	小児科医・ リハビリテーション科医
森下 利典	幡ヶ谷、笹塚、西原	帝京短期大学 地域貢献推進室

■2021年度検討委員会日程

検討委員会	日程	場所
第1回	2021年7月9日（金）	笹塚駅前区民施設
第2回	2021年9月1日（水）	オンライン開催
第3回	2021年11月4日（木）	笹塚駅前区民施設
第4回	2021年12月23日（木）	笹塚駅前区民施設

4.2. 第1回ササハタハツエリアビジョン検討委員会

(1) 内容

参加メンバーの自己紹介を行い、検討委員会の進め方についての説明ののち、2つのグループに分かれ、15のテーマを参考にササハタハツエリアの特徴について意見を出し合いました。このエリアの緑道や商店街などの身近なところについて、また、最近のまちの動向など、色々なエリアの魅力、改善していきたい点について話し合われました。短時間の議論の中でも、多角的な視点から多くの考えが共有され、グループ内で共感し合う委員の皆さんのやりとりがとても印象的でした。最後は、グループごとに、出し合った意見を整理したものを発表し、全体に共有しました。

【日時】2021年7月9日（金）18：00～19：50

【場所】笹塚駅前区民施設

■当日プログラム

- 1 開会の挨拶（齋藤事務局長）
- 2 令和2年度検討内容の報告・共有
- 3 グループワーク 議題：「ササハタハツエリアの特徴に合ったテーマは？」
- 4 各グループ発表
- 5 講評（泉山委員）
- 6 閉会の挨拶（宇城事務局次長）

■会の様子



(2) 当日挙げられた意見

ササハタハツエリアの特徴、それに基づいた各テーマについて意見が挙げられました。

第1回検討委員会で挙げられた意見 -1

Aグループ Bグループ

特徴1 【コミュニティ・暮らし】 多様な世代を受け入れる、暮らしが中心にあるまち	1. 多様な人と人がつながり、暮らしを支え合う機会と場があるまち	バーチャルでも出会えるまち	障害者がいてもいい状態(をつくる)	DV被害者の居場所(づくり)	世代間の交流が少ない	子育て世帯は地域とのコミュニティがどうか?	コミュニティしない理由?			
	2. 誰もが生き生きと健康に暮らせるまち	ランニングしやすい環境	障害者が運動できる	障害者の仕事の切り出し	徘徊できるまち	YOGAテラス				
	3. 災害や非日常時も支え合えるつながりと備えがあるまち	障害者ピックアップしてください	災害の時に避げる場所に不安	防災無線が聞こえない	本町のエリアは時々火事がある					
	4. 地域を越えて足りない機能を補完しあひ助け合うまち	初台の北と南の行き来が難しい	初台・幡ヶ谷の駅前が駅舎がないのでわかりにくい							
	5. 安心して暮らせるまち	車椅子が通れない(笹塚・商店街)	七号公園トイレどう?	自転車で移動が多いのになしがしろにされる	駅(幡ヶ谷)の階段が危ない	地下鉄の音がうるさい				
	6. 居場所をつくり、育て、使いこなすまち	都営はどうする?	気持ちのいい公園が欲しい	食を通じた居場所を作る	ゆるく自然と住民が交流できる場所がほしい	公園はたくさんあるが使いにくい場所もある	だれの公園? (か分からない)	子供のための公園(が必要)	公園が多いのに規制が多いことがある	水通道路沿いの公園が寂しい
特徴2 【自然・環境】 玉川上水水路緑道を中心に、身近に自然を感じることができるまち	9. 自然と共生し、持続可能な社会づくりに貢献するまち	管理ご川がある。活用すべき。	溜池番前はジャングル(維持管理)	緑道だんだん汚くなって	やたら数が多い。緑道の一部	自然に融けられる				
		研究まちづくり								

第1回検討委員会で挙げられた意見 -2

Aグループ Bグループ

特徴3 【商業・賑わい】 商店街を中心に、様々な魅力ある商店が集積するまち	10. 商店街や書店が生き生きとした魅力的なまち	西原がオシャレになっている。	経費がある	初台商店街として機能していない	オリジナルな店が多い	お店の賑わいを外に出す	京王グループのエリアビジョンを知りたい	店が読かない? (初台)	本町・初台エリアの商店街がもう少し充実してほしい	商店街が閉鎖的	商店街の中の店舗が入れ替わっている	
	11. 誰もが楽しく歩けるまち	商店街に車が入ってくる。	車と歩行者を分ける。人のための道	自転車専用レーンを道路に作って欲しい	道路が狭いのに車が多くてちょっと危険	笹塚駅前の没個性化	初台は遊びに来る場所がない					
	12. 新たなビジネスに挑戦できるまち	空き家を活用できそう(起業)	家賃が高くなりすぎて魅力のある店が少ない									
	13. 多様な働き方に対応するまち	ソーシャルファーム支援	障害者との交流を多く。	コワーキング・シェアオフィスがあまりない								
特徴4 【歴史・文化・創造】 まちの歴史を土壌に、新たな文化や魅力が生まれるまち	7. 時代の重層性を感じられるまち	歴史・土地の情報少ない										
	8. 文化・芸術を感じられるまち	北沢	芸術文化を身近に	エリアから芸術・アートが感じられないし、アートを身近に	オペラシティと町のつながりがあまりない							
	14. 魅力・文化・歴史を発信するまち	オペラシティ劇場をもっと住民に開く。	歴史について分からない	面白い歴史があるのに知る機会がない	まちあるきしたいが、どこが見たいか分からない							
	15. 中長期的な視野で挑戦し、創発的に取り組むまち											
	その他 制度提案	SDGsがどうして必要か学べる	実行に柔軟なまち	できる事からすぐやる。								

4.3. 第2回ササハタハツエリアビジョン検討委員会

(1) 内容

新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い、オンライン開催に変更して、第2回ビジョン検討委員会を開催しました。前回の振り返りを行ったのち、まちづくりのテーマごとに、そのテーマを実現するための取り組みアイデアを出し合いました。まちの多様な人たちが誰もが穏やかに暮らせること、お互い支え合えるようなコミュニティづくりに寄与するような取り組み、そして豊かな生活に欠かせない文化・芸術に関する取り組みなど、第1回で話された課題解決につながるような取り組み案が出されました。ワークショップ後半になると、それぞれの委員のアイデアを組み合わせることによって、よりまちにとって良い効果が得られるのではというような、熱のこもった議論も展開されていました。最後に、委員の方より、テーマごとに更に学び検討する場として、分科会を開催してはというご提案があり、他の委員の皆さまの賛同も多く、次回第3回の開催前に、自ら手を挙げて下さった委員の方を中心に分科会を開催することになりました。

【日時】2021年9月1日（水）18：00～20：00

【開催方式】オンライン開催（Microsoft Teams を利用）

■当日プログラム

- 1 検討委員会の愛称決め
- 2 第1回検討委員会の振り返りとテーマ案・共通原則案の説明
- 3 グループワーク 議題：「テーマの実現に向けて必要な取組を考える」
- 4 各グループ発表
- 5 講評（泉山委員）

■会の様子



(2) 当日挙げられた意見

新しく設定したテーマに対し、実現するためのアイデアについて意見が挙げられました。

[A] グループワークシート

新テーマ	テーマを実現するための取り組みアイデア	その他
マネジメント エリア全体のブランディング・プロモーション・マネジメントにより戦略的なまちづくりを展開	地域リーダー育成プロジェクト (高校生対象) トライアンドエラーできる SNSグループ立ち上げ (若い人たちの取り込み) slackが良いか?	
コミュニティ 多様な人と人がつながり、暮らしを支えあう場を生み出す	継続できる場をつなげる【事例】コミュニティカフェ 気軽に場を立ち上げられる	
健康 誰もが健康に暮らせるための場・機会をつくる	独りにさせない居場所「前のお回りごこちマーチンジャー支店作戦！」	
防災・減災 安心して暮らせるためにもしもの備えや日々の安全な暮らしを守る	有事の際の具体的な取り組みがわかるように、新しい防災訓練が必要? 情報共有の強化?? 防災は参加する人が限定されてしまっている、開きやすくするには?? 情報共有と地域のつながりが重要	
公共空間 公共空間を積極的に活用し、まちに居場所をつくり、使いこなす	継続できる空間を再発見【事例】八甲田公園でのイベント SINGE2017 居心地の良いユニバーサルデザインの公共空間 子供、高齢者誰でもいられる場 外に賑わいが見込み出ている空間づくり ペンチを作って置くWS (作る過程やどこに置くかから話す)	
自然環境 自然と共生し、持続可能な社会づくりに貢献する	SDGsなガーデンづくり 地域で植物を育てるコミュニティ 助成金に頼らず、環境型で植物を育てる	・学びを次世代へつなぐ ・誰でも関わられる居場所づくり ・顔なじみが広がるまち (孤立した人とつながれる)
賑わい 商店街や個性ある店舗の集積を活かし、まちの賑わいをつくる	とにかく応援する(飲む、食べる、買う!) 気楽に期間限定ショップができる商店街 コロナ禍で商店街を応援する仕組み 一週間だけ食堂 (商店街で)	・トライアンドエラーで居場所づくり ・そこで学び合って教えて次世代へつなぐ
働き方 多様な働き方や起業を支える		
文化・芸術・歴史 日常的に文化・芸術にふれられる環境をつくる	誰もが文化芸術に触れられる場 多世代アートな活動をつくる (初音ミクフェスタ、みんなでWS芸術家) 歴史や文化などの魅力を伝える公開セミナー (地元図書館等と連携) 次世代へ歴史を語りつなぐ取り組み 昔の地図と今の地図を見比べて討論 地域のかかるた制作	

[B] グループワークシート

新テーマ	テーマを実現するための取り組みアイデア	その他
マネジメント エリア全体のブランディング・プロモーション・マネジメントにより戦略的なまちづくりを展開	ファームを軸としたまちづくり 【総論】一橋大学の農産物の空き店舗、地主が買っている、初回はあいてい	テーマごとにグループをわけない話があるのでは?
コミュニティ 多様な人と人がつながり、暮らしを支えあう場を生み出す	公共施設の利用促進のためのSNS情報発信 規制の少ない(中央公園)の公園 学校の空き部屋等の土日間放自習室 空き店舗で居場所・繋がりがつく(若い事とお菓子販売など) 顔見知り、ゆるいつながりをつくりたい(挨拶ができる程度)	
健康 誰もが健康に暮らせるための場・機会をつくる	孤独・ストレス・食・運動 → SDGs 収穫祭・焚き火 地産外空間でのスパーアッププログラム ヨガ	
防災・減災 安心して暮らせるためにもしもの備えや日々の安全な暮らしを守る		
公共空間 公共空間を積極的に活用し、まちに居場所をつくり、使いこなす	オープンスペースの活用	
自然環境 自然と共生し、持続可能な社会づくりに貢献する	客層が参加したくなるカフェ等居場所提供 学生やアーティストの居場所の発表・展示 ファームを軸としたまちづくり	
賑わい 商店街や個性ある店舗の集積を活かし、まちの賑わいをつくる	商店街の組織の再検討	
働き方 多様な働き方や起業を支える	アーティストへのポイント、活動の場提供 空き家を活用した起業・スタートアップ向けコミュニティ	
文化・芸術・歴史 日常的に文化・芸術にふれられる環境をつくる	アーティストインレジデンス エリア内調査発表会(アートイベント開催)「ササハタハイツ」(プロムナード復興) ササハタハイツ歴史と自然探訪ツアー	

4.4. 第3回ササハタハツエリアビジョン検討委員会

(1) 内容

第2回検討委員会の振り返りを行ったうえで2021年度第1回アンケートの結果を皆さんと共有しました。その後、これらに基づいた「共通原則」「テーマ」「取り組み」について2つのグループに分かれ、意見交換を行いました。さらに、実現する上でのロードマップについて、も意見交換を行いました。最後は、グループごとに、出し合った意見を整理したものを発表し、全体に共有しました。また、分科会についても報告されました。

【日時】2021年11月4日（木）18：00～20：00

【場所】笹塚駅前区民施設

■当日プログラム

- 1 第2回検討委員会の振り返りと第1回アンケート結果の共有
- 2 共通原則、テーマ、取り組みについての意見交換
- 3 ロードマップについての説明
- 4 各グループ発表
- 5 分科会の報告
- 6 講評（泉山委員）

■会の様子



(2) 当日挙げられた意見

実現するためのロードマップとして、1年以内、3年以内、4年目以降着手の視点で意見が挙げられました。

第3回ササハタハツビジョン検討委員会 グループワーク

1年以内着手 3年以内着手 4年目移行着手

①コミュニティ
人と人がつながり、暮らしを支え合う

②健康
誰もが健康に暮らせるための場や機会をつくる

③パブリックスペース
公共空間をまちの居場所として積極的に使い、育てる

④賑わい
商店街や個性ある店舗の集積を活かし、まちの賑わいをつくる

⑤自然環境
自然と共生し、持続可能なまちづくりに貢献する

⑥文化・芸術・歴史
エリアの個性を活かし、新たな文化・芸術の創造を支える

⑦仕事
多様な働き方や起業を支える

⑧治安・防災
日々の暮らしの安全を確保し、非日常にも支え合えるまちをつくる

1年以内着手

- ①コミュニティ: ①地域・団体のほとの中心になる「お祭り」の場づくり
- ②健康: ②屋外空間でのスポーツ活動プログラム
- ③パブリックスペース: ③公園を新たな利用用途プログラム
- ④賑わい: ④アーティストインレジデンス
- ⑤自然環境: ⑤オープンスペース・ファームを軸とした環境再生
- ⑥文化・芸術・歴史: ⑥多世代アートな芸術家(アーティスト)イベント開催
- ⑦仕事: ⑦地域おこし隊の地域ポイントで起業やチャンスを得る
- ⑧治安・防災: ⑧防災訓練や防災情報の共有

3年以内着手

- ①コミュニティ: ①駅前になんか「お祭り」の場づくり
- ②健康: ②子ども高齢者も遊んでもらえる場所づくり
- ③パブリックスペース: ③公園を新たな利用用途プログラム
- ④賑わい: ④アーティストインレジデンス
- ⑤自然環境: ⑤オープンスペース・ファームを軸とした環境再生
- ⑥文化・芸術・歴史: ⑥多世代アートな芸術家(アーティスト)イベント開催
- ⑦仕事: ⑦地域おこし隊の地域ポイントで起業やチャンスを得る
- ⑧治安・防災: ⑧防災訓練や防災情報の共有

4年目移行着手

- ①コミュニティ: ①商店街の組織の再検討
- ②健康: ②土曜開放自習室(学校空き部室等)
- ③パブリックスペース: ③定期的な少人数集まる場(公園)
- ④賑わい: ④空き店舗の活用(飲食)
- ⑤自然環境: ⑤子どもや若いアーティストの集まる場所(学校空き部室)
- ⑥文化・芸術・歴史: ⑥空き店舗の活用(飲食)
- ⑦仕事: ⑦ベンチプロジェクト
- ⑧治安・防災: ⑧飲食店の応援

第3回ササハタハツビジョン検討委員会 グループワーク

着手 3年以内着手 4年目移行着手

①コミュニティ
人と人がつながり、暮らしを支え合う

②健康
誰もが健康に暮らせるための場や機会をつくる

③パブリックスペース
公共空間をまちの居場所として積極的に使い、育てる

④賑わい
商店街や個性ある店舗の集積を活かし、まちの賑わいをつくる

⑤自然環境
自然と共生し、持続可能なまちづくりに貢献する

⑥文化・芸術・歴史
エリアの個性を活かし、新たな文化・芸術の創造を支える

⑦仕事
多様な働き方や起業を支える

⑧治安・防災
日々の暮らしの安全を確保し、非日常にも支え合えるまちをつくる

着手

- ①コミュニティ: ①駅前になんか「お祭り」の場づくり
- ②健康: ②子ども高齢者も遊んでもらえる場所づくり
- ③パブリックスペース: ③公園を新たな利用用途プログラム
- ④賑わい: ④アーティストインレジデンス
- ⑤自然環境: ⑤オープンスペース・ファームを軸とした環境再生
- ⑥文化・芸術・歴史: ⑥多世代アートな芸術家(アーティスト)イベント開催
- ⑦仕事: ⑦地域おこし隊の地域ポイントで起業やチャンスを得る
- ⑧治安・防災: ⑧防災訓練や防災情報の共有

3年以内着手

- ①コミュニティ: ①駅前になんか「お祭り」の場づくり
- ②健康: ②子ども高齢者も遊んでもらえる場所づくり
- ③パブリックスペース: ③公園を新たな利用用途プログラム
- ④賑わい: ④アーティストインレジデンス
- ⑤自然環境: ⑤オープンスペース・ファームを軸とした環境再生
- ⑥文化・芸術・歴史: ⑥多世代アートな芸術家(アーティスト)イベント開催
- ⑦仕事: ⑦地域おこし隊の地域ポイントで起業やチャンスを得る
- ⑧治安・防災: ⑧防災訓練や防災情報の共有

4年目移行着手

- ①コミュニティ: ①商店街の組織の再検討
- ②健康: ②土曜開放自習室(学校空き部室等)
- ③パブリックスペース: ③定期的な少人数集まる場(公園)
- ④賑わい: ④空き店舗の活用(飲食)
- ⑤自然環境: ⑤子どもや若いアーティストの集まる場所(学校空き部室)
- ⑥文化・芸術・歴史: ⑥空き店舗の活用(飲食)
- ⑦仕事: ⑦ベンチプロジェクト
- ⑧治安・防災: ⑧飲食店の応援

4.5. 第4回ササハタハツエリアビジョン検討委員会

(1) 内容

これまでの検討会の内容を受け、ビジョン素案について説明し、意見交換を行いました。さらに、ビジョンの実現に向けた推進体制、ロードマップについても意見を伺いました。また、分科会についても報告されました。

【日時】2021年12月23日（木）18:00～20:15

【場所】笹塚駅前区民施設

■当日プログラム

- 1 ビジョン素案の説明（1～4章）と意見交換
- 2 ビジョン素案の説明（5章）と意見交換
- 3 分科会の報告
- 4 講評（泉山委員）

■会の様子



(2) 当日挙げられた意見

新しく設定したテーマに対し、実現するためのアイデアについて意見が挙げられました。

<キャッチコピーについて>

- ・端的、単純にしないと伝わらない。
- ・意欲がある人へのみ向けられている感じがする。強制感がある。皆がいきいき活躍する必要はないと思う。
- ・議論が深まっていない段階でコピーを決めるのは難しい。
- ・share happiness はわかりやすい。
- ・テーマや共通原則を含んだキャッチコピーが望ましい。
- ・インパクトがほしい。
- ・お互いに育み合う部分があればいい。

<推進体制について>

- ・よく考えられている。渋谷区の金銭的な支援はどれほどか？
- ・388 エリアメーカーズとまちラボ、388FARM など、それぞれの違い、関係性は？将来的にどのような体制になるのか。
- ・いろいろな言葉が出てくる。まちへの関わり方は分けられないと思う。
- ・ロードマップ以外はシンプルにした方がよい。

<ロードマップについて>

- ・時間軸を圧縮したほうが良いと思う。
- ・ビジョンの実現を何年でやるのか。ゴールが曖昧ならビジョンも曖昧になると思う。
- ・マイルストーンを書くの良いと思う。
- ・テーマ 8 つあって素晴らしいと思うが、もっと絞っていく思考、議論があればいいと思った。

5. ササハタハツエリアビジョン検討委員会・分科会

5.1. 分科会について

ササハタハツエリアビジョン検討委員会・分科会は、第2回の検討委員会の際に委員の提案により自発的に生まれた検討会です。「インクルーシブ」「パブリックスペース」「文化・芸術・歴史」の3つの分科会が設定され、委員の主導によって会が行われました。

■2021年度分科会日程

分科会	日程	場所
インクルーシブ分科会	第1回	2021年10月19日(火)
	第2回	2021年12月25日(土)
パブリックスペース分科会	第1回	2021年10月5日(火)
	第2回	2021年12月2日(木)
文化・芸術・歴史分科会	第1回	2021年10月4日(月)
	第2回	2021年11月24日(水)

5.2. インクルーシブ分科会

(1) 内容

インクルーシブ分科会では、ササハタハツエリアのインクルーシブ（包摂）をどのように考えるのかについて、計2回のワークショップが行われました。

■第1回

2021年10月19日（火）

- ・何のためのインクルーシブを実現するのか
- ・誰もが幸せになれるインクルーシブとは
- ・388 FARM β ならではのインクルーシブが作れるのか

■第2回

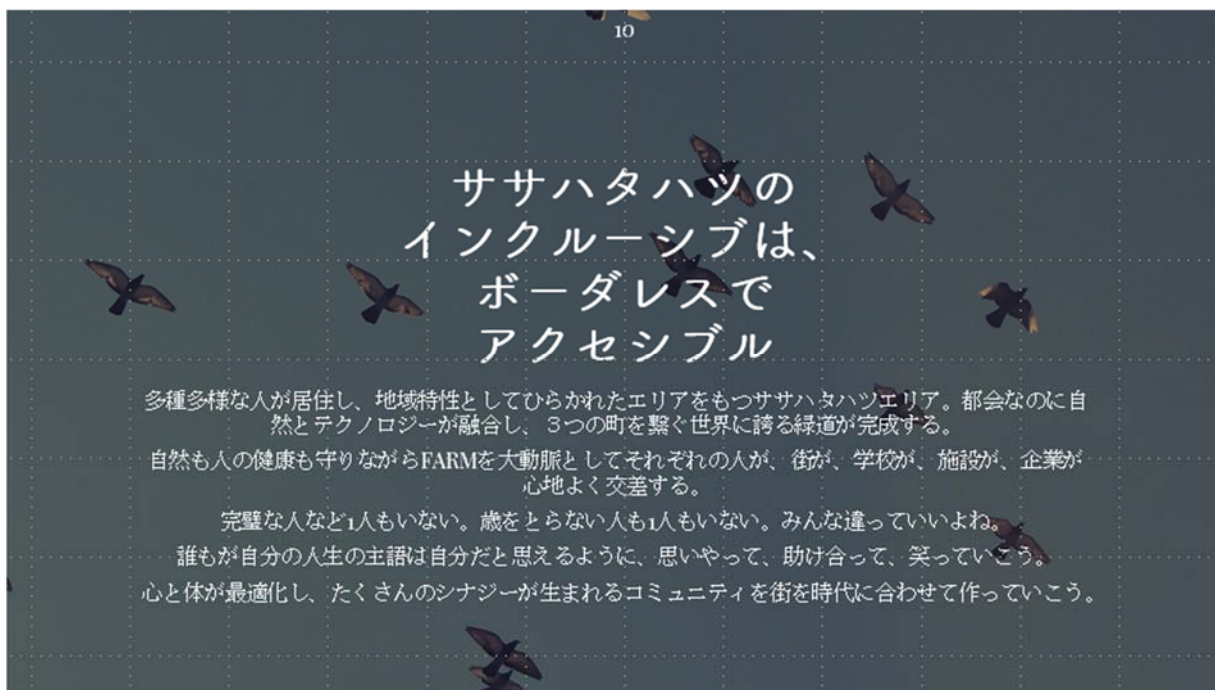
2021年12月25日（土）

- ・ササハタハツエリアならではのインクルーシブとは
- ・ビジョンに盛り込むキーワード決め

(2) 成果

ササハタハツエリアビジョンにおける「共通原則」の一つである「インクルーシブ」の内容を検討しました。

■分科会の成果として得られたササハタハツエリアならではの「インクルーシブ」の説明文



5.3. パブリックスペース分科会

(1) 内容

パブリックスペース分科会では、多様な人を許容するパブリックスペースのあり方について、意見交換や実際にササハタハツエリアの街歩きをするなど、計2回の分科会が実施されました。

■第1回

2021年10月5日(火)

- ・多様な人を許容するパブリックスペースのあり方について
- ・パブリックスペースについての意見交換

■第2回

2021年12月2日(木)

- ・街歩き
- ・街歩きを行ったパブリックスペースの中で活用できそうなところ、面白いところはどこか
- ・今回まわらなかったパブリックスペースの中で行ってみたい場所はどこか

(2) 成果

ササハタハツエリアにおける活動できる可能性のあるパブリックスペースの調査・抽出を行いました。

■分科会で共有された内容

- ・ひだまり公園は子どもたちとその母親たちでにぎわっていた。もう少し暖を取れる場所や座れる場所があるともっといいと思った。子どもとお母さんがのんびりと過ごせる場所にできると思った。平日の昼間歩いてそういう方々も多くいらっしやる。
- ・渋谷川の支流をめぐるのが面白かった。
- ・ケアコミュニティせせらぎのラウンジは広場や芝生がある。渋谷区の施設で一般の人でも入れる。5月にせせらぎ祭りをやっている。もともとは東京教育大学(現・筑波大学)の跡地。
- ・旧幡ヶ谷駅跡は、現在駐車場になっている。
- ・六号通り公園は以前人が多かったが、七号通り公園のトイレが整備されて人が来なくなった。少しとまって遊べる場所ができたらよい。
- ・緑道のトイレでも防犯面に配慮してほしい。
- ・七号通り公園はトイレの後ろに大きな駐車場(オリンパス跡地駐車場)があって夏は暑い。トイレの隣の道路が狭くて危険で歩けない。古紙リサイクルの工場の車が入って危険なため、人々は駐車場の中を通っている。
- ・カシオの公開空地は芝生があり、カシオ側の建物もガラス張りになっているので民地との関係性を作りやすい。何かできたら面白い。カシオの公開空地と連携して保育園も使えたりするとい

- ・笹塚の水が流れる公園（daiwa 笹塚タワー付近）も雰囲気の良いところなので、うまく使えたらいい。
- ・有機栽培の農作物を使った加工品など、少し生活の質にこだわった商品を展開するなどして仕掛けられるといい。
- ・包括支援センターは高齢者のみならず子どもにも開いている。ひだまり公園と高齢者施設と包括と保育園と関係性がいいと思った。ミックスじゃないとつまらない。
- ・初台はドラッグストアがなくなり、オペラシティまで買いに行く必要があるが、オペラシティにあるドラッグストアはビジネス向けなのでトイレットペーパー等は売っていない。オペラシティ商店街は個店の数も少ない。不動通り商店街は個性ある店舗があって面白い。
- ・帝京短大では S-SAP 協定を結び、年間 100 程度のイベントが実施されている。
- ・子ども食堂がたくさんあると困っている子、困っていない子も含めて利用できる。多様な子ども向けの子どもの食堂もあるのが良い。新しいプロジェクトが生まれるといい。

5.4. 文化・芸術・歴史分科会

(1) 内容

文化・芸術・歴史分科会では、ビジョンにおける「文化・芸術・歴史」に関して活用ができると思われる屋内・屋外の場所の抽出など、計2回の分科会が実施されました。

■第1回

2021年10月4日(月)

- ・現在行われているプロジェクトの共有
- ・イベントや歴史・自然探訪ツアー等の提案
- ・ディスカッション

■第2回

2021年11月24日(水)

- ・文化・芸術・歴史のテーマで活動できる可能性のある屋内・屋外の場所の抽出

(2) 成果

ササハタハツエリアにおける活動できる可能性のある屋内・屋外の場所の抽出を行いました。

ササハタハツ 芸術文化歴史 イベントスポット



